

■. 本調査報告についての留意事項

1. 調査の目的について

子ども・子育て支援法に基づく新たな制度（平成 27 年度から実施予定）により、子育て支援制度の充実を図る「松伏町子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、幼稚園・保育所（園）・放課後児童クラブなどの利用状況や利用希望を把握し、子育て支援に関する意見や要望を取り入れるため。

2. 調査の対象について

本報告書は以下の 3 つのアンケート調査で構成される。

1) 未就学児童保護者用アンケート

①調査の方法

調査地域	松伏町内
調査対象	松伏町内に在住する未就学児童の保護者
標本数	600 人
標本抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	郵送配送、郵送回収
調査期間	平成 25 年 10 月 1 日（火）～平成 25 年 10 月 31 日（木）
調査基準日	平成 25 年 10 月 1 日

②調査項目

- ア) 子どもの属性
- イ) 回答者の属性
- ウ) 育児に関わっている人
- エ) 育児の相談
- オ) 母親の就労
- カ) 父親の就労
- キ) 「定期的な教育・保育の事業」の利用
- ク) 子育て支援拠点事業
- ケ) 土曜・日曜や長期休暇中の「定期的な教育・保育事業」の利用希望
- コ) 子どもが病気やケガの際の対応
- サ) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等
- シ) 小学校就学後の放課後の過ごし方
- ス) 職場の両立支援制度
- セ) 町の子育て環境や支援に対する満足度

2) 就学児童保護者用アンケート

①調査の方法

調査地域	松伏町内
調査対象	松伏町内に在住する小学校就学児童の保護者
標本数	600人
標本抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	郵送配送、郵送回収
調査期間	平成25年10月1日(火)～平成25年10月31日(木)
調査基準日	平成25年10月1日

②調査項目

- ア) 子どもの属性
- イ) 回答者の属性
- ウ) 育児に関わっている人
- エ) 育児の相談
- オ) 母親の就労
- カ) 父親の就労
- キ) 放課後の過ごし方

3) 幼稚園園児保護者用アンケート

①調査の方法

調査地域	松伏町、越谷市、吉川市、春日部市
調査対象	松伏町内に在住する幼稚園園児の保護者
標本数	479人(園児数)
標本抽出方法	各幼稚園に依頼して全数調査
調査方法	各幼稚園にて配布・回収
調査期間	平成25年11月1日(金)～平成25年11月30日(土)
調査基準日	平成25年11月1日

②調査項目

- ア) 子どもの学齢
- イ) 居住地
- ウ) 父親の就労状況
- エ) 母親の就労状況
- オ) 預かり保育の利用状況

3. 発送・回収の状況

1) 未就学児童保護者用アンケート集計結果

発送数	回収数	回収率
600人	378人	63.0%

2) 就学児童保護者用アンケート集計結果

発送数	回収数	回収率
600人	365人	60.8%

3) 幼稚園園児保護者用アンケート集計結果

配布数（園児数）	回収数（保護者数）
479人	339人

4. 調査結果を見る上での留意点

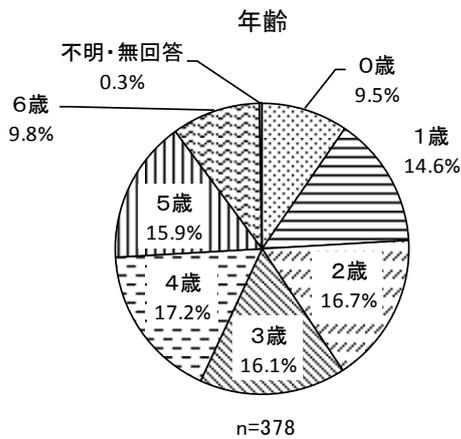
- 1) 図表中の「n」（number of case の略）は各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。したがって、複数回答の設問では、すべての比率の合計は100.0%を超える。
- 2) 調査結果の比率は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、すべての比率を合計しても100.0%にならないことがある。
- 3) 図表中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化してある。
- 4) クロス集計の図表については、表側となる設問に「不明・無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- 5) 数量の集計については以下のとおりとした。
 - ・1日当たりの時間は〇〇時間と回答することを求めているが、回答に端数があった場合には切り上げて集計した（例えば、4.5時間であれば5時間として集計）。
 - ・週あたり（月当たり）の日数は〇〇日と回答することを求めているが、回答に端数があった場合には切り上げて集計した（例えば、5.5日であれば6日として集計）。
 - ・サービスの開始時間は〇〇時と回答することを求めているが、回答に端数があった場合には切り下げて集計した（例えば、8時半開始であれば8時開始として集計）。
 - ・サービスの終了時間は〇〇時と回答することを求めているが、回答に端数があった場合には切り上げて集計した（例えば、17時半終了であれば18時終了として集計）。
 - ・週あたりと月当たりの日数を併記する設問は月当たりで集計し、月当たりの日数と週あたりの日数を月当たりに換算（4倍）した日数のいずれか多い方を採った。
 - ・平日の放課後の過ごし方で各選択肢の日数の合計が5日を超える場合には、合計が5日になるよう各選択肢の日数を平準化した。

I. 未就学児童保護者用アンケート集計結果

1. 子どもの属性

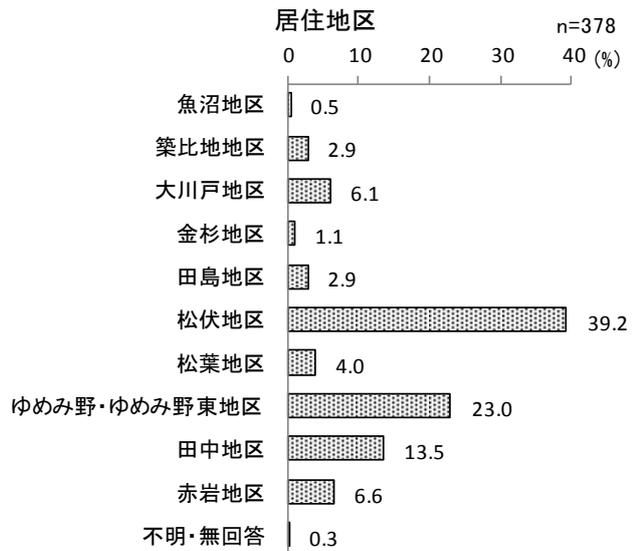
1) 年齢

- ・「0歳」(9.5%)のうち、3カ月未満は1.6%、3カ月以上6カ月未満は2.1%、6カ月以上1歳未満は5.8%。



2) 居住地区

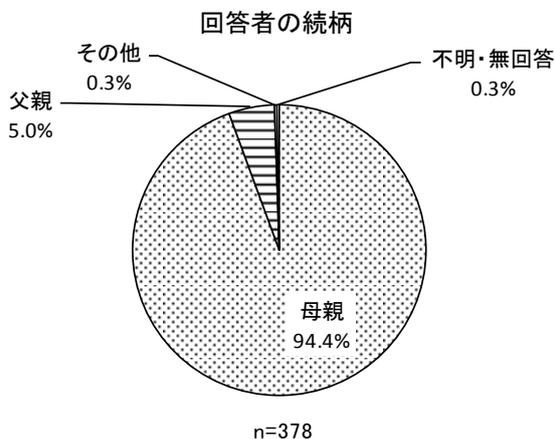
- ・「松伏地区」が39.2%を占める。



2. 回答者の属性

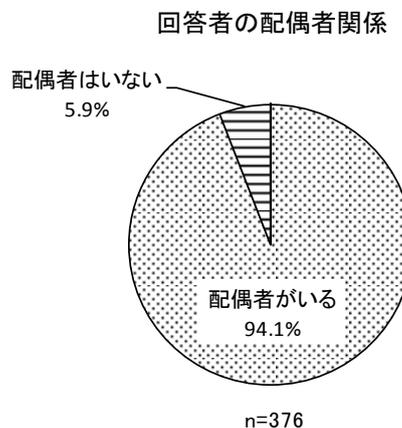
1) 回答者の続柄

- ・回答者の94.4%が「母親」。



2) 回答者の配偶者関係

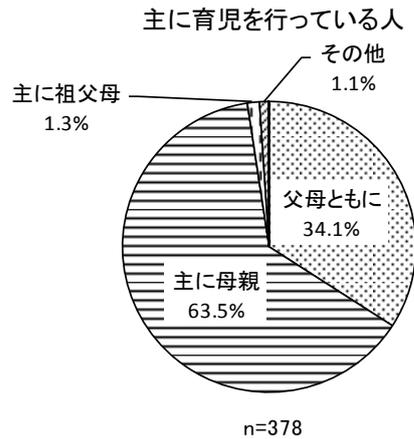
- ・母親または父親が回答した376人のうち、94.1%に「配偶者がいる」。



3. 育児に関わっている人

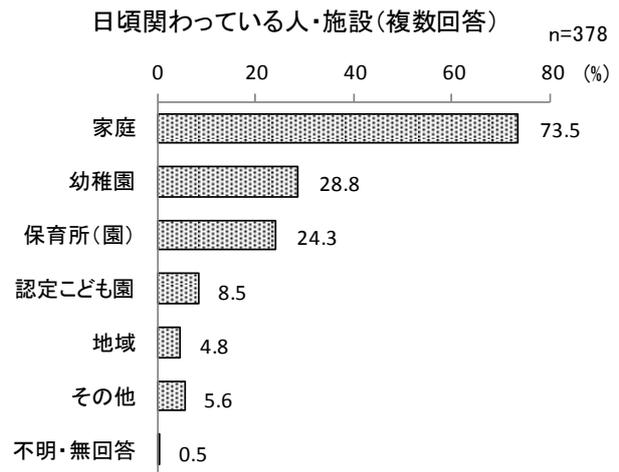
1) 主に育児を行っている人

- ・「主に母親」が63.5%、「父母ともに」が34.1%。



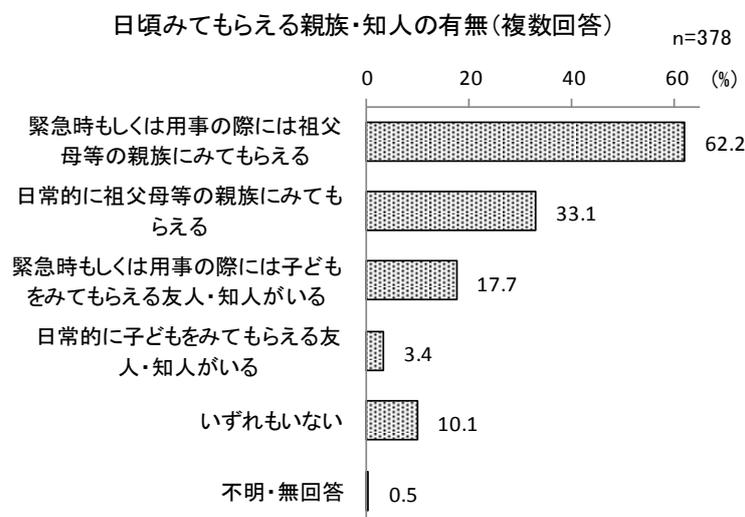
2) 日頃関わっている人・施設

- ・家庭外の施設では、「幼稚園」(28.8%)、「保育所(園)」(24.3%)が多い。



3) 日頃みてもらえる親族・知人の有無

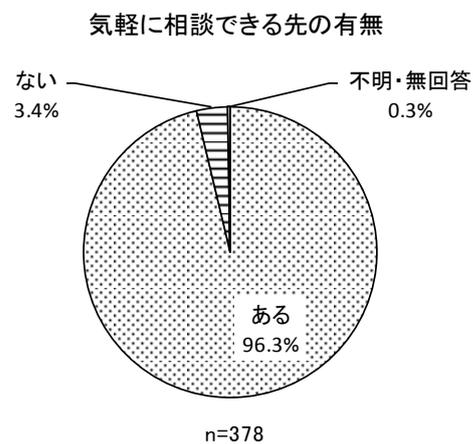
- ・「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は33.1%だが、緊急時もしくは用事の際であれば62.2%が祖父母等の親族にみてもらえる。
- ・「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は17.7%。
- ・「いずれもない」は10.1%。



4. 育児の相談

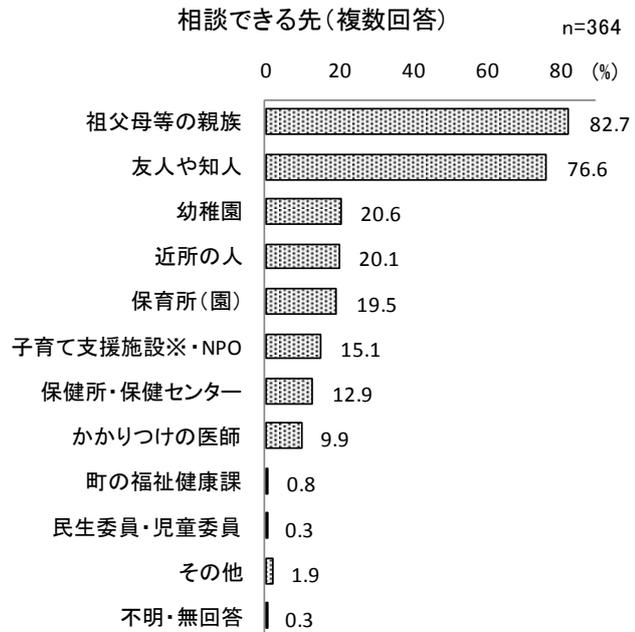
1) 気軽に相談できる先の有無

・育児を気軽に相談できる先が「ある」は96.3%、「ない」は3.4%であった。



2) 相談できる先

・「祖父母等の親族」(82.7%)や「友人や知人」(76.6%)が多い。



※子育て支援施設: 地域子育て支援拠点、児童館等

3) 相談できる先と子どもの年齢との関係

・0~1歳では「祖父母等の親族」が9割を超える。
 ・保育所や幼稚園に通う年齢から、相談できる先が多様になっている。

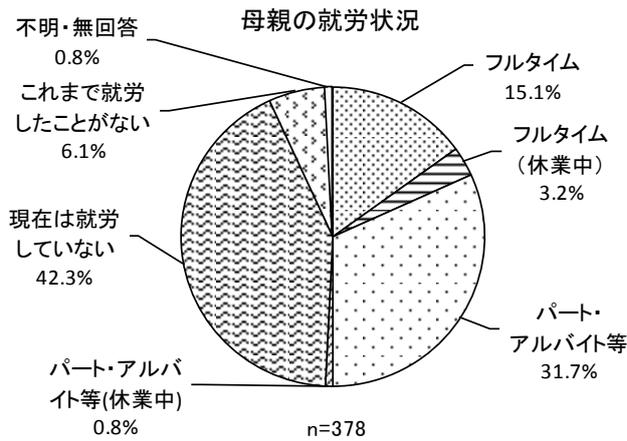
相談できる先と子どもの年齢との関係

上段:度数 下段:%	合計	祖父母等の親族	友人や知人	幼稚園	近所の人	保育所(園)	子育て支援施設・NPO	保健所・保健センター	かかりつけの医師	町の福祉健康課	民生委員・児童委員	その他	不明
全体	364 100.0	301 82.7	279 76.6	75 20.6	73 20.1	71 19.5	55 15.1	47 12.9	36 9.9	3 0.8	1 0.3	7 1.9	1 0.3
0歳	36 100.0	34 94.4	29 80.6	-	3 8.3	1 2.8	8 22.2	9 25.0	3 8.3	-	1 2.8	-	-
1歳	54 100.0	50 92.6	43 79.6	1 1.9	10 18.5	8 14.8	11 20.4	8 14.8	6 11.1	-	-	1 1.9	-
2歳	61 100.0	52 85.2	49 80.3	4 6.6	11 18.0	15 24.6	13 21.3	7 11.5	5 8.2	-	-	1 1.6	-
3歳	59 100.0	47 79.7	38 64.4	12 20.3	12 20.3	13 22.0	5 8.5	6 10.2	4 6.8	-	-	1 1.7	-
4歳	60 100.0	42 70.0	43 71.7	20 33.3	15 25.0	14 23.3	8 13.3	11 18.3	7 11.7	1 1.7	-	2 3.3	-
5歳	58 100.0	48 82.8	42 72.4	24 41.4	10 17.2	10 17.2	7 12.1	3 5.2	8 13.8	1 1.7	-	1 1.7	1 1.7
6歳	35 100.0	27 77.1	34 97.1	14 40.0	12 34.3	9 25.7	3 8.6	3 8.6	3 8.6	1 2.9	-	1 2.9	-

5. 母親の就労

1) 母親の就労状況

- ・「フルタイム」は育児休暇等による休業中を含めて18.3%、「パート・アルバイト等」は休業中も含めて32.5%で、全体の50.8%が就労している。
- ・子どもの年齢別（一番下の子の年齢とは限らない）では、3歳以上で「パート・アルバイト等」が3割を超え、0～1歳では「現在は就労していない」が6割を超える。



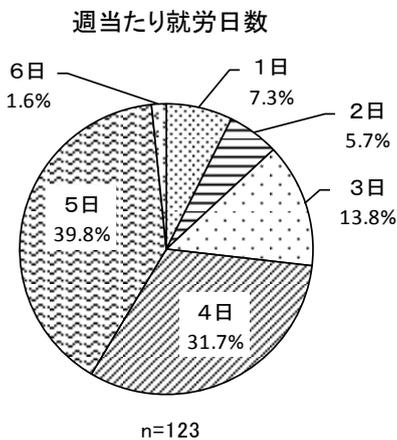
子どもの年齢別に見た母親の就労状況

上段:度数 下段:%	合計	フルタイム	フルタイム (休業中)	アルバイト等	パート・アルバイト等 (休業中)	現在は就労していない	これまで就労したことがない	不明
全体	378	57	12	120	3	160	23	3
	100.0	15.1	3.2	31.7	0.8	42.3	6.1	0.8
0歳	36	2	4	3	2	23	2	-
	100.0	5.6	11.1	8.3	5.6	63.9	5.6	-
1歳	55	4	3	11	-	36	-	1
	100.0	7.3	5.5	20.0	-	65.5	-	1.8
2歳	63	9	3	17	-	29	5	-
	100.0	14.3	4.8	27.0	-	46.0	7.9	-
3歳	61	13	1	19	-	23	5	-
	100.0	21.3	1.6	31.1	-	37.7	8.2	-
4歳	65	11	-	25	-	22	6	1
	100.0	16.9	-	38.5	-	33.8	9.2	1.5
5歳	60	13	-	25	1	18	3	-
	100.0	21.7	-	41.7	1.7	30.0	5.0	-
6歳	37	5	1	19	-	9	2	1
	100.0	13.5	2.7	51.4	-	24.3	5.4	2.7

2) パート・アルバイト等の場合の就労状況

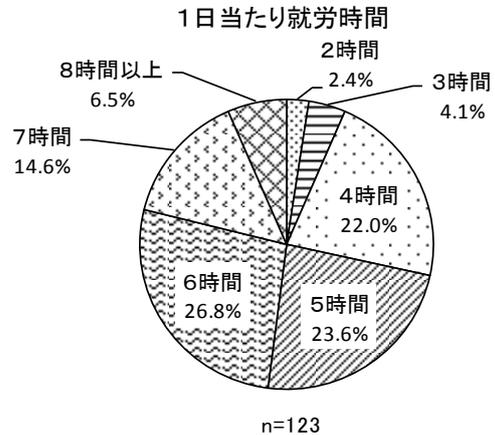
① 週当たり就労日数

- ・「5日」が39.8%、「4日」が31.7%を占める。



② 1日当たり就労時間

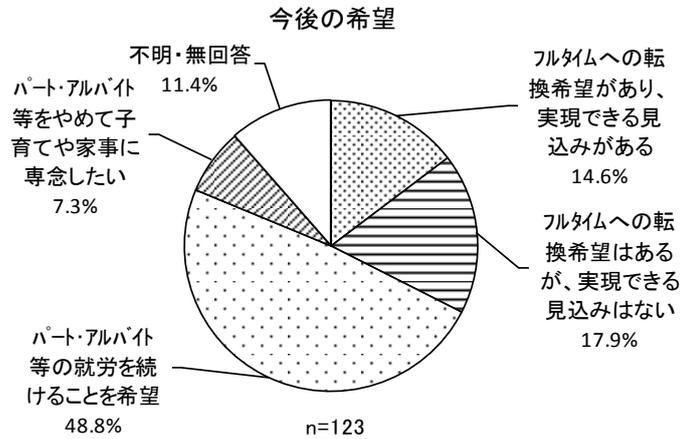
- ・「6時間」が26.8%で最も多く、「5時間」が23.6%、「4時間」が22.0%で続く。



※パート・アルバイト等の就労者には休業中を含む。

③今後の希望

- ・「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が48.8%を占める。
- ・パート・アルバイト等の就労者の32.5%にフルタイムへの転換希望があるが、このうち17.9%（転換希望者の約55%）は実現できる見込みがないと回答している。

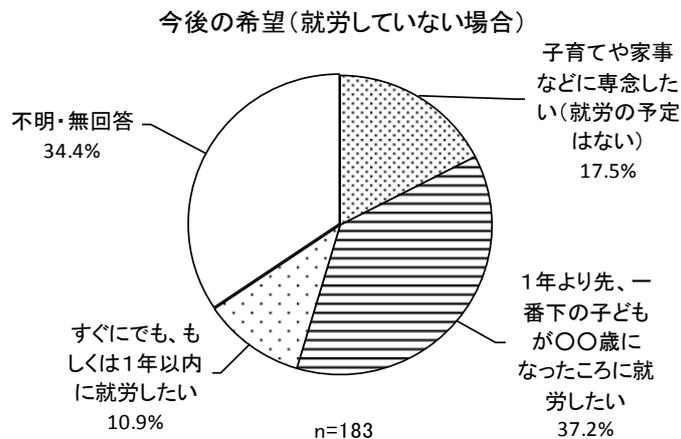


※パート・アルバイト等の就労者には休業中を含む。

3) 就労していない場合の就労希望

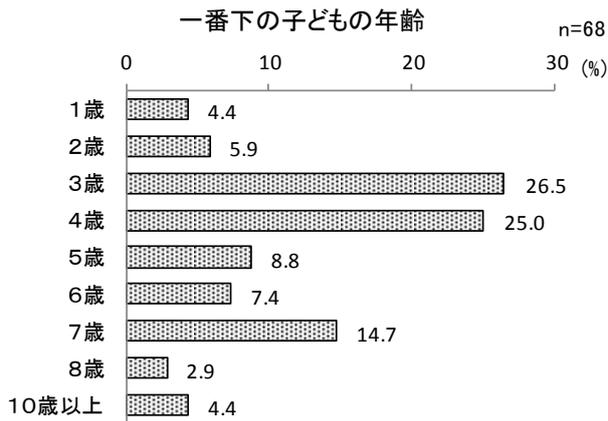
①今後の希望

- ・「これまで就労したことがない」あるいは「現在就労していない」母親のうち10.9%には1年以内の就労希望があり、1年以上先の就労を希望する場合を含めて48.1%には将来的な就労意向がある。



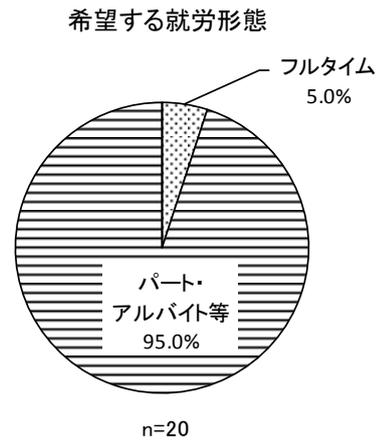
② 1年より先の就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢

- ・ 3歳（26.5%）と4歳（25.0%）で過半数を占める。
- ・ 次に、小学校入学後となる7歳が14.7%で続く。



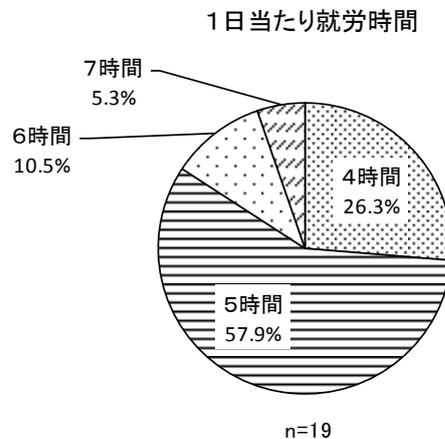
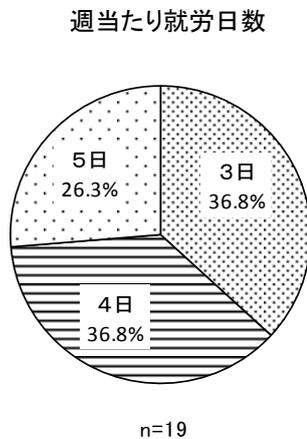
③ すぐにも、もしくは1年以内の就労を希望する場合の就労形態

- ・ すぐにも、もしくは1年以内の就労を希望しているのは20人で、その95.0%（19人）が「パート・アルバイト等」を希望している。



④ すぐにも、もしくは1年以内にパートタイム・アルバイト等での就労を希望する場合の労働条件

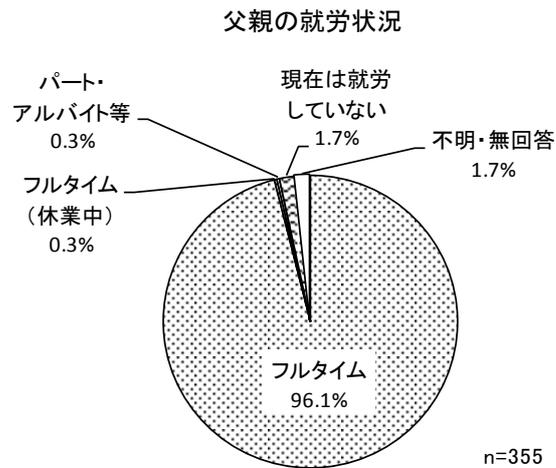
- ・ 週当たり就労日数は、「3日」と「4日」がそれぞれ36.8%（7人）、「5日」が26.3%（5人）。
- ・ 1日当たり就労時間は「5時間」が57.9%（11人）で最も多く、「4時間」が26.3%（5人）で続く。



6. 父親の就労

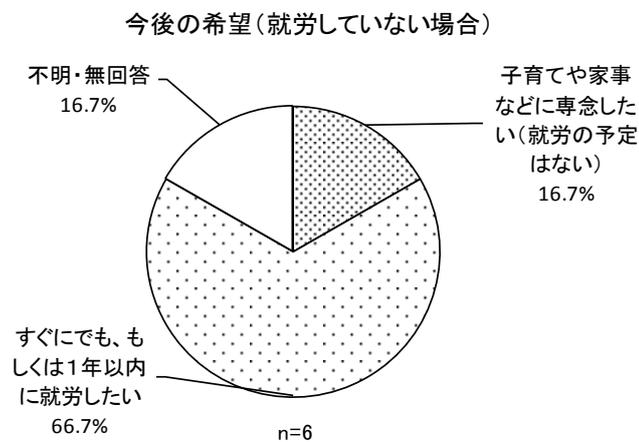
1) 父親の就労状況

- ・育児休暇等での休業中を含めて、「フルタイム」での就労が96.1%を占める。
- ・「パート・アルバイト等」は0.3%（1人）だが、週当たり就労日数や1日当たり就労時間はフルタイム相当で、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答している。
- ・「現在は就労していない」は1.7%（6人）であった。



2) 就労していない場合の就労希望

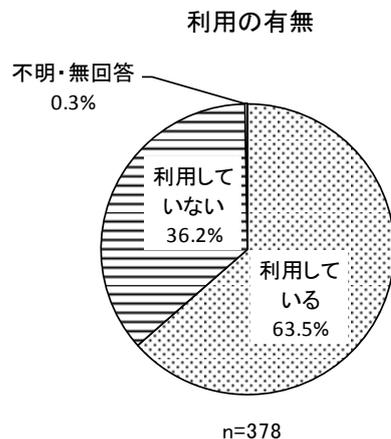
- ・現在就労していない6人のうち、66.7%（4人）は「すぐにでも、もしくは1年以内の就労」を希望し、その全員がフルタイムでの就労を希望している。



7. 「定期的な教育・保育の事業」の利用

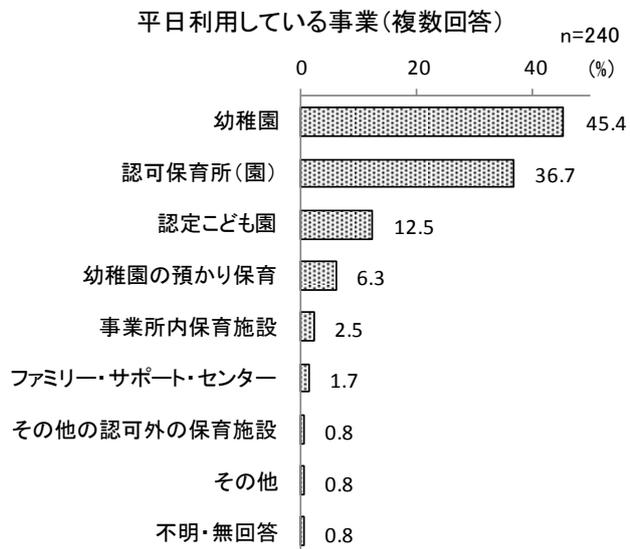
1) 利用の有無

- ・「利用している」が63.5%、「利用していない」は36.2%であった。



2) 平日利用している事業

- ・「幼稚園」が45.4%で最も多く、「認可保育所（園）」が36.7%で続く。



3) 子どもの年齢別の利用状況

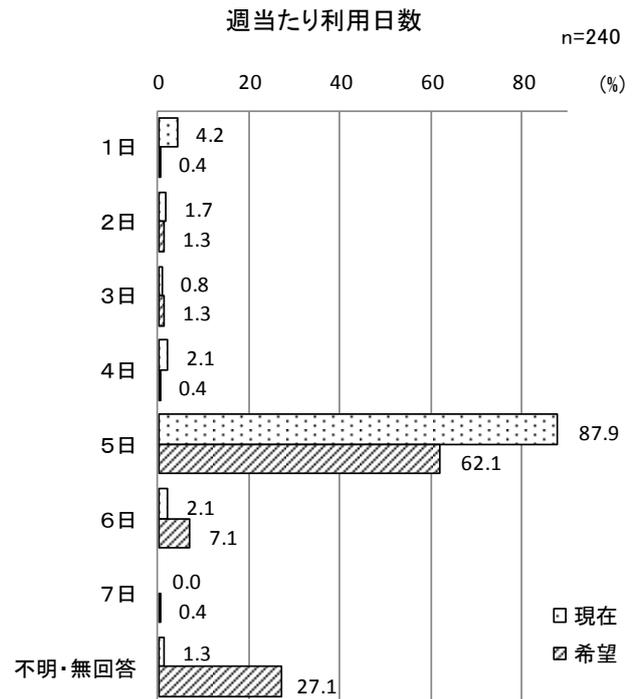
- ・0～1歳では8割超、2歳でも6割弱が「利用していない」。
- ・4歳以上ではほとんどの児童が何らかの事業を利用しており、なかでも「幼稚園」の利用が過半数を占めている。

子どもの年齢別の利用状況

上段:度数 下段:%	合計	利用している(複数回答)									利用していない	不明・無回答	
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所(園)	認定こども園	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	不明・無回答			利用している合計
全体	378 100.0	109 28.8	15 4.0	88 23.3	30 7.9	6 1.6	2 0.5	4 1.1	2 0.5	2 0.5	240 63.5	137 36.2	1 0.3
0歳	36 100.0	1 2.8	-	3 8.3	-	-	-	-	-	-	4 11.1	32 88.9	-
1歳	55 100.0	-	1 1.8	8 14.5	1 1.8	-	-	-	-	-	10 18.2	45 81.8	-
2歳	63 100.0	4 6.3	-	15 23.8	3 4.8	2 3.2	1 1.6	-	-	1 1.6	26 41.3	37 58.7	-
3歳	61 100.0	15 24.6	2 3.3	18 29.5	4 6.6	1 1.6	-	1 1.6	1 1.6	-	41 67.2	19 31.1	1 1.6
4歳	65 100.0	35 53.8	2 3.1	18 27.7	6 9.2	1 1.5	1 1.5	1 1.5	-	-	61 93.8	4 6.2	-
5歳	60 100.0	32 53.3	7 11.7	18 30.0	8 13.3	1 1.7	-	2 3.3	1 1.7	1 1.7	60 100.0	-	-
6歳	37 100.0	22 59.5	3 8.1	7 18.9	8 21.6	1 2.7	-	-	-	-	37 100.0	-	-

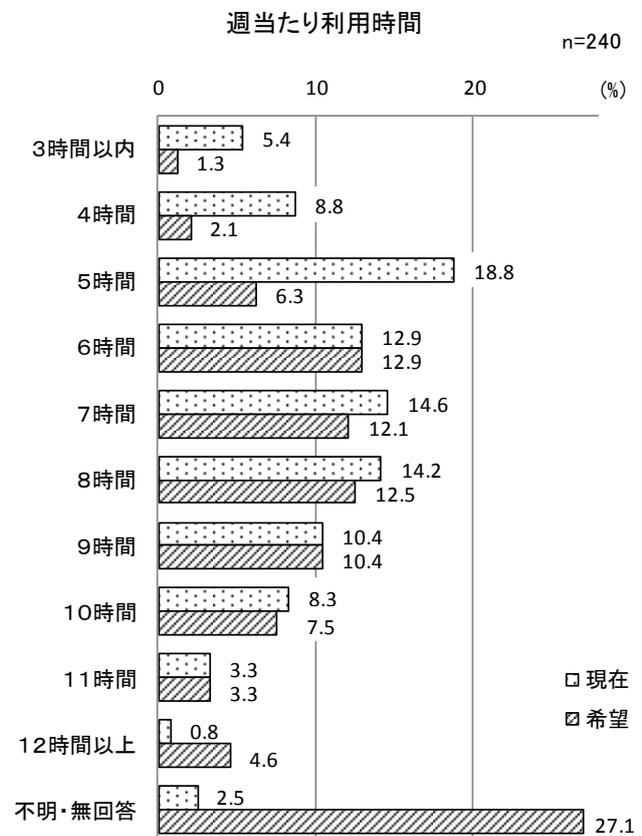
4) 週あたりの利用日数

- ・「定期的な教育・保育の事業」を利用している場合の週あたりの利用日数は、「5日」が87.9%を占めている。
- ・利用者が希望する利用日数も「5日」が62.1%で最も多く、これは、不明・無回答を除いた回答の85.1%を占めている。



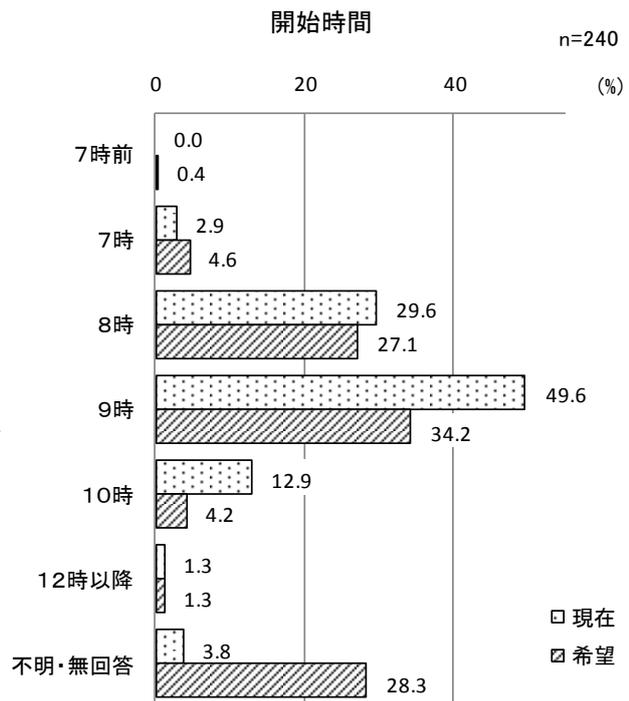
5) 週あたり利用時間

- ・「定期的な教育・保育の事業」を利用している場合の1日あたり利用日数は、「5時間」が18.8%で最も多く、「7時間」が14.6%、「8時間」が14.2%で続く。
- ・利用者が希望する利用時間は「6時間」が12.9%で最も多い。
- ・現在の利用状況では5時間以下の利用が33.0%あるが、今後の希望では6時間以上の利用が主体となっている。



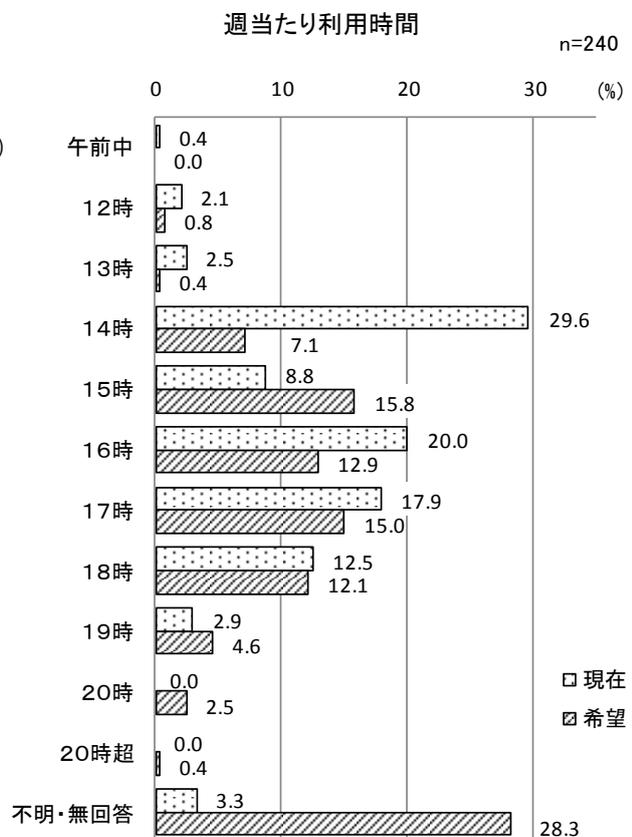
6) 開始時間

- ・現在の利用状況では「9時」が49.6%で最も多く、続いて「8時」が29.6%となっている。
- ・希望する開始時間では「9時」が34.2%で最も多い。次に「8時」(27.1%)の希望が多いことは現在の利用状況と変わらないが、「7時」あるいは「7時前」の希望が若干ながら増えている。



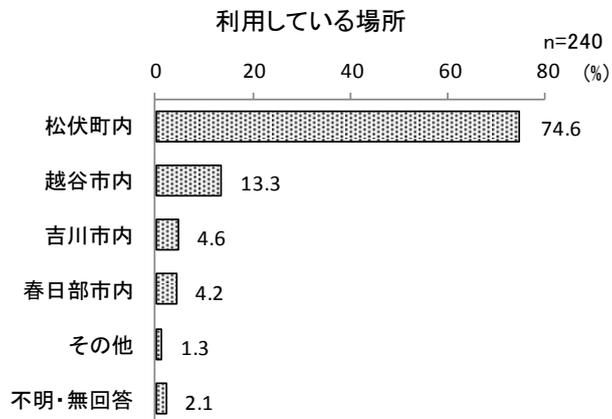
7) 終了時間

- ・現在の利用状況では「14時」が29.6%で最も多く、続いて「16時」(20.0%)から「17時」(17.9%)の2つのピークがある。
- ・希望する終了時間では「15時」(15.8%)から「18時」(12.1%)にかけてピークがあり、総じて現在の利用状況に比較して遅くなっている。



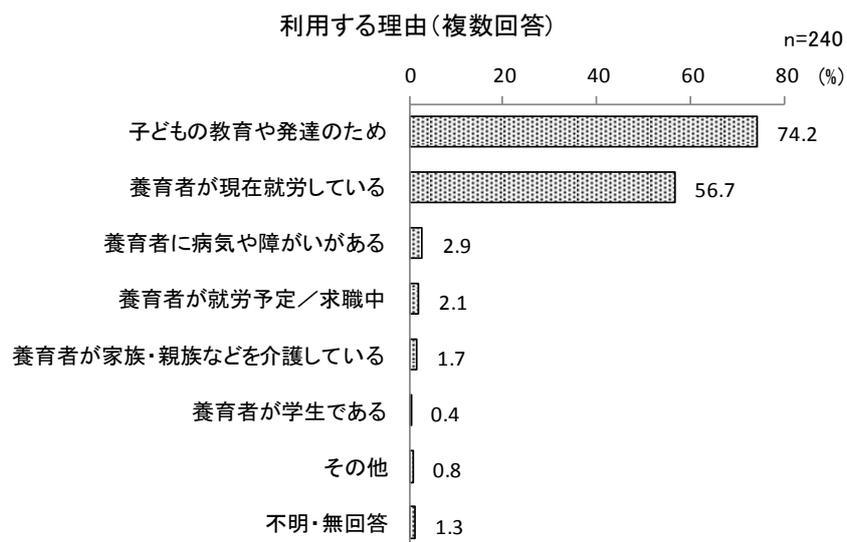
8) 利用している場所

- ・「松伏町内」が74.6%で最も多く、続いて「越谷市内」が13.3%となっている。



9) 利用する理由

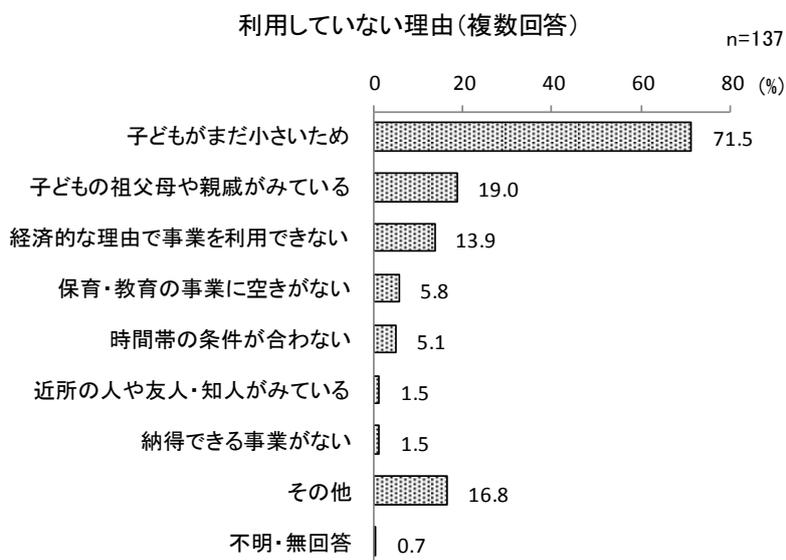
- ・「定期的な教育・保育事業」を利用する理由としては、「子どもの教育や発達のため」が74.2%で最も多い。
- ・全体の56.7%が「養育者が現在就労している」ことをあげている。



10) 利用しない理由

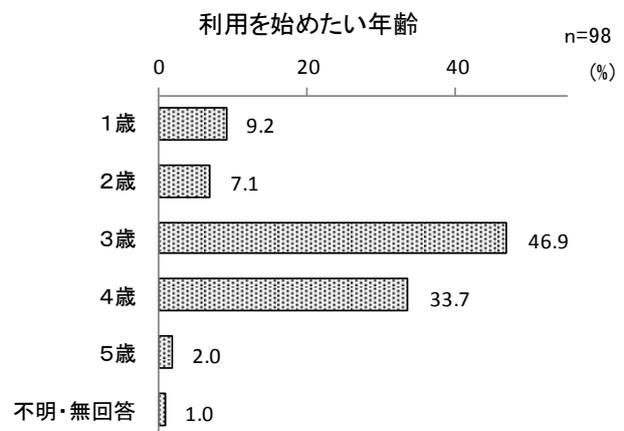
①利用しない理由

- ・「定期的な教育・保育事業」を利用していないと回答した137人について利用しない理由を聞いたところ、「子どもがまだ小さいため」が71.5%で最も多かった。
- ・「子どもの祖父母や親戚がみている」は19.0%。
- ・「経済的な理由で事業を利用できない」が13.9%あった他、「保育・教育の事業に空きがない」(5.8%)、「時間帯の条件が合わない」(5.1%)といったサービス提供体制面での問題もあげられている。



②利用しようとする時の子どもの年齢

- ・「子どもがまだ小さいため」と回答した98人について、何歳くらいになったら利用しようと考えているかを聞いたところ、「3歳」が46.9%で最も多く、続いて「4歳」が33.7%となった。

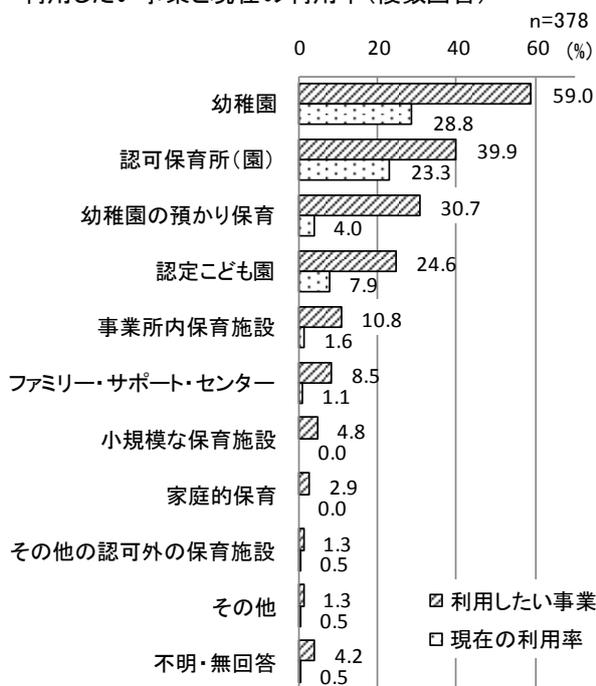


1 1) 定期的に利用したいと考える事業

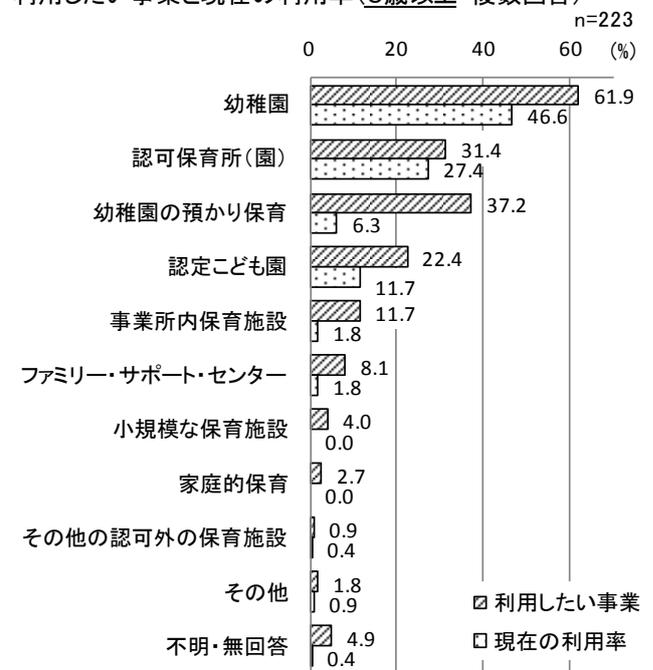
①利用したい事業と現在の利用率

- ・利用したい事業は「幼稚園」が 59.0 で最も多く、以下、「認可保育所(園)」(39.9%)、「幼稚園の預かり保育」(30.7%)、「認定子ども園」(24.6%)となった。
- ・子どもの年齢 3 歳以上では、「幼稚園」の利用希望が 61.9%、現在の利用率は 46.6%で、15.3ポイントの差がある。「幼稚園の預かり保育」については、利用希望が 37.2%、現在の利用率は 6.3%で、その差は 30.9ポイントと大きい。
- ・「認可保育所(園)」は、3 歳以上の利用希望と利用率の差は 4ポイントにとどまるが、全体では 16.6ポイントの差があり、0~2 歳児に対するニーズが大きいことがわかる。同様に「認定子ども園」についても、0~2 歳児を対象とした保育に対する期待が感じられる。

利用したい事業と現在の利用率(複数回答)

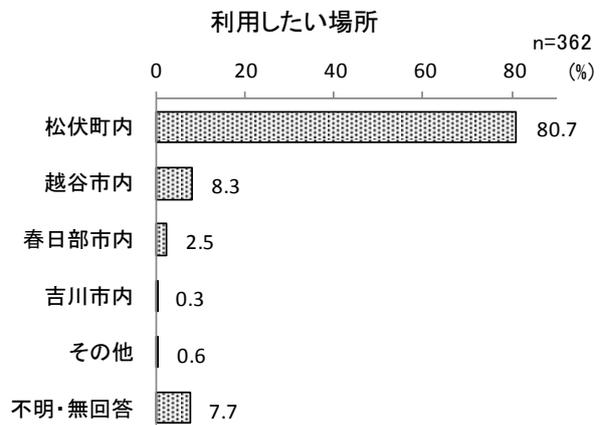


利用したい事業と現在の利用率(3歳以上・複数回答)



②利用したい場所

- ・何らかの事業を利用したいと回答した 362 人のうち、80.7%は「松伏町内」での利用を希望している。



8. 子育て支援拠点事業

1) 利用状況

① 子育て支援拠点事業の利用

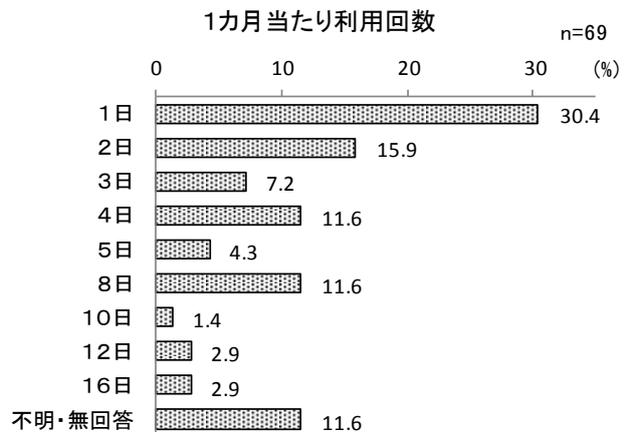
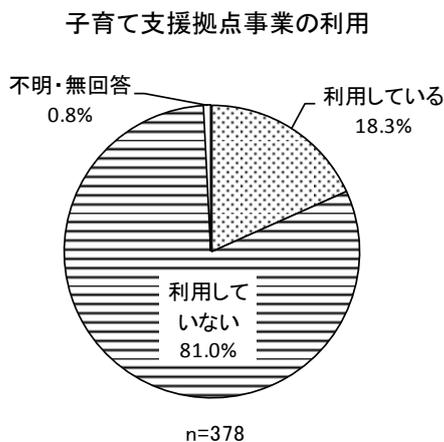
・「利用している」は18.3%にとどまった。

※松伏町の子育て支援拠点は、「松伏町地域子育て支援センター」と「大川戸地域子育て支援センター」の2カ所。

② 1カ月当たり利用回数

・利用しているのは69人で、1カ月の利用日数は「1日」が30.4%で最も多い。

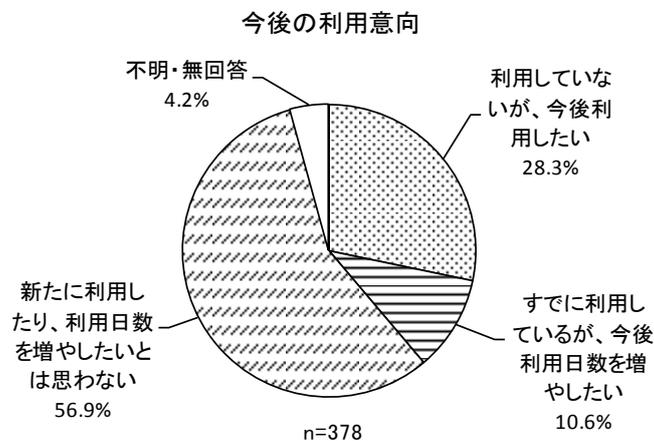
・利用者の1カ月あたりの平均利用日数は3.8日であった。



2) 今後の利用意向

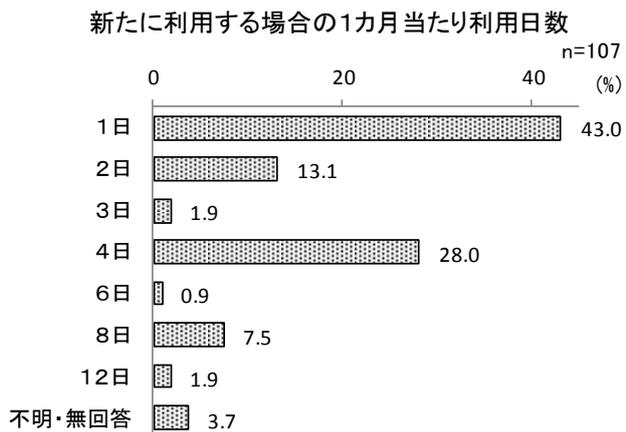
① 今後の利用意向

・「利用していないが、今後利用したい」が28.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が10.6%で、合わせて38.9%が利用を増やす意向であった。



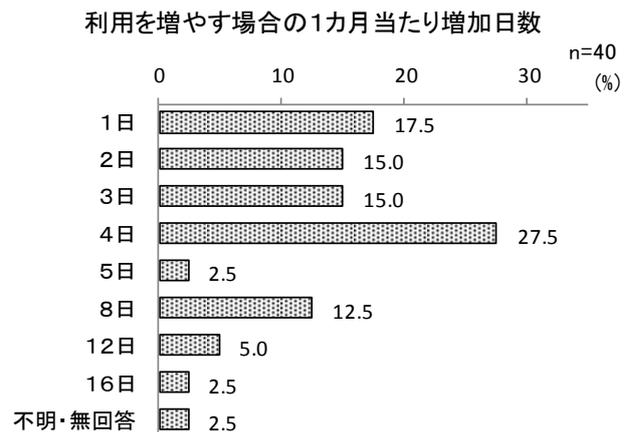
②新たに利用する場合の利用日数

- ・1カ月あたりの利用日数は、「1日」が43.0%で最も多く、続いて「4日」（週1回）が28.0%となっている。
- ・1カ月あたりの平均利用日数は2.9日。



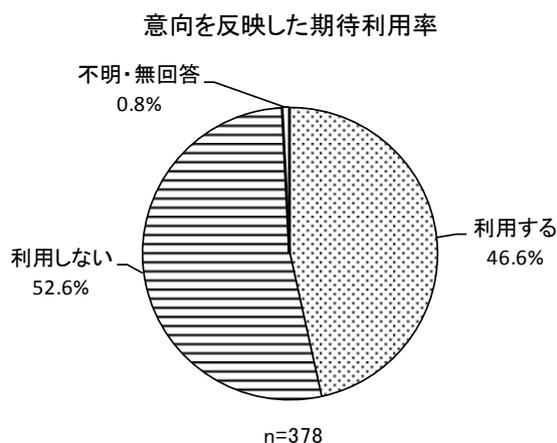
③利用を増やす場合の増加数

- ・利用を増やす場合の1カ月当たり増加日数は、「4日」が27.5%で最も多い。
- ・1カ月あたりの平均増加日数は4.2日。



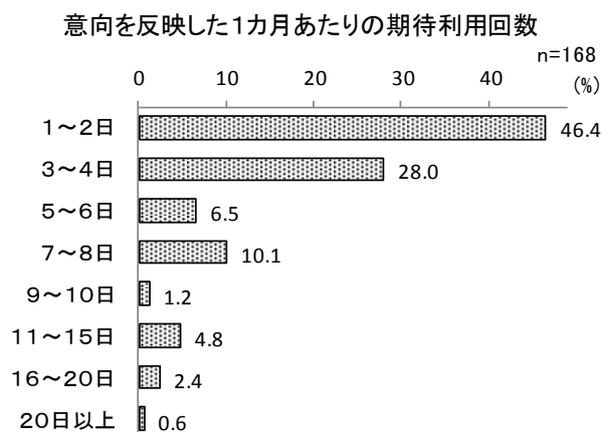
④意向を反映した期待利用率

- ・今後の利用意向を反映した子育て支援拠点事業の期待利用率は46.6%。



⑤意向を反映した期待利用回数

- ・今後の意向を反映した1カ月あたりの期待利用回数は1~2日が46.4%で最も多く、平均利用日数は4.0日

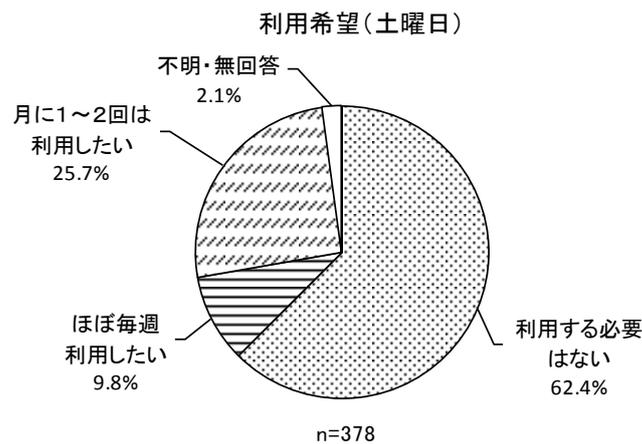


9. 土曜・日曜や長期休暇中の「定期的な教育・保育事業」の利用希望

1) 土曜日

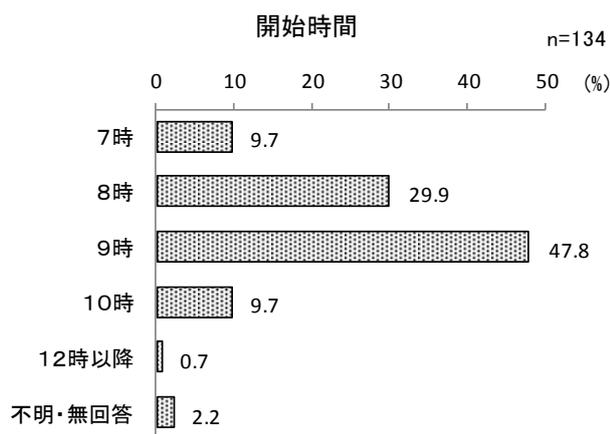
①利用希望

- ・「ほぼ毎週利用したい」が9.8%、「月に1～2回は利用したい」が25.7%で、全体の35.5%に利用希望があった。



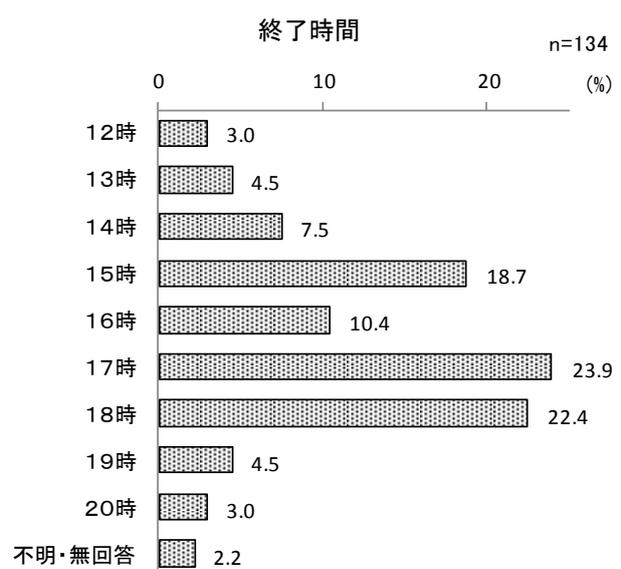
②開始時間

- ・「9時」が47.8%で最も多く、続いて「8時」が29.9%となっている。



③終了時間

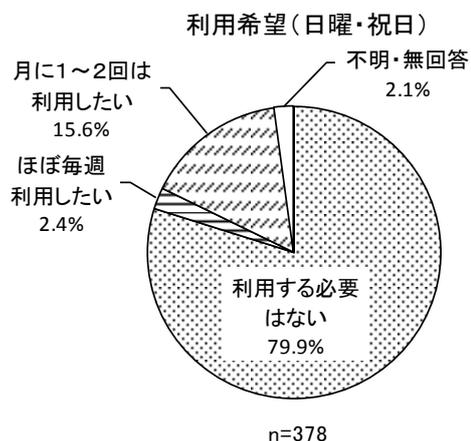
- ・「17時」(23.9%)と「18時」(22.4%)で希望者全体の半数弱を占める。



2) 日曜・祝日

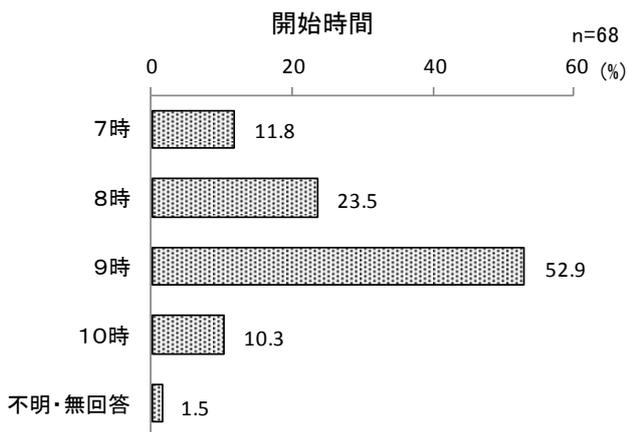
①利用希望

- ・「ほぼ毎週利用したい」が2.4%、「月に1~2回は利用したい」が15.6%で、全体の18.0%に利用希望があった。



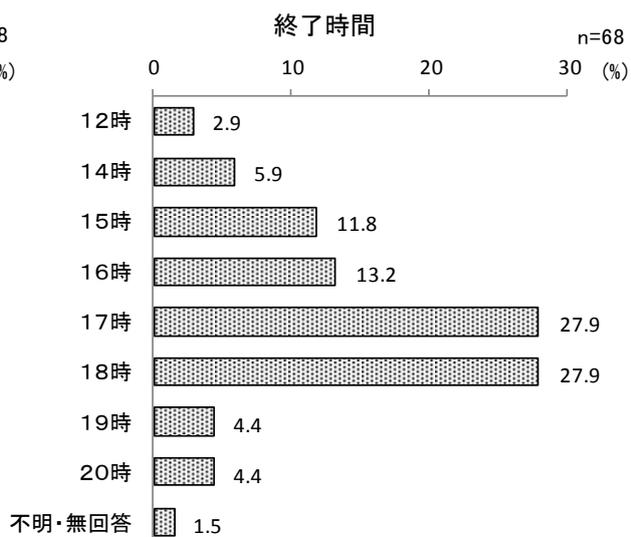
②希望開始時間

- ・「9時」が52.9%で最も多く、続いて「8時」が23.5%となっている。



③希望終了時間

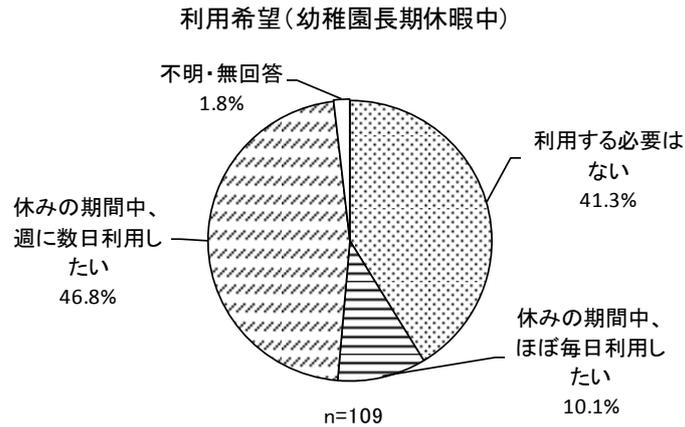
- ・「17時」と「18時」がそれぞれ27.9%を占めた。



3) 幼稚園の長期休暇中

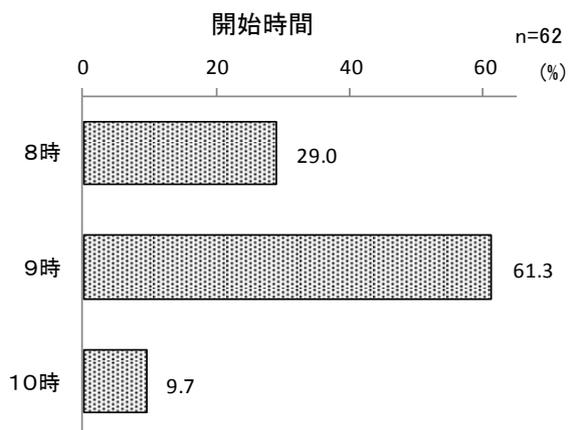
①利用希望

・現在、幼稚園を利用している109人のうち46.8%が「休みの期間中、週に数日利用したい」、10.1%が「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答しており、全体の56.9%に利用希望があった。



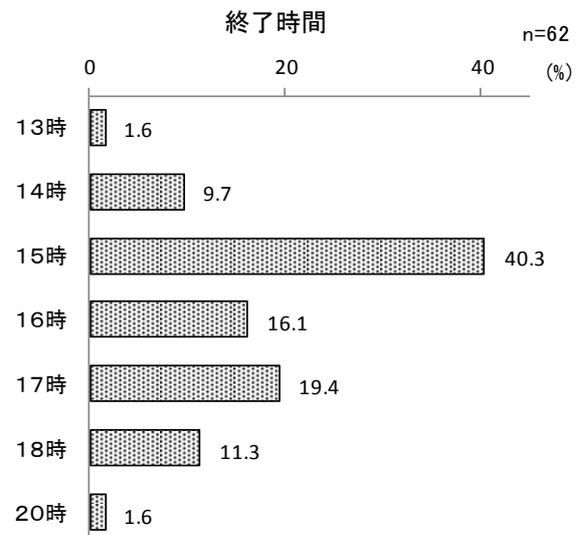
②希望開始時間

・「9時」が61.3%で最も多く、続いて「8時」が29.0%となっている。



③希望終了時間

・「15時」が40.3%で最も多く、「17時」までで全体の87.1%を占める。

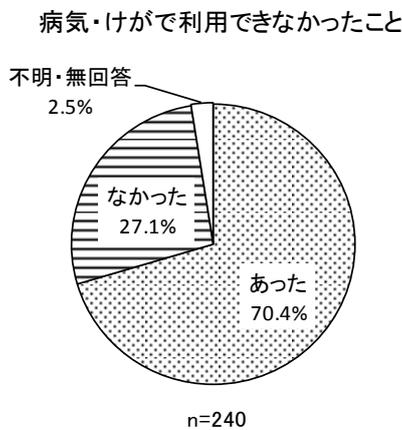


10. 子どもが病気やケガの際の対応

1) この1年間の状況

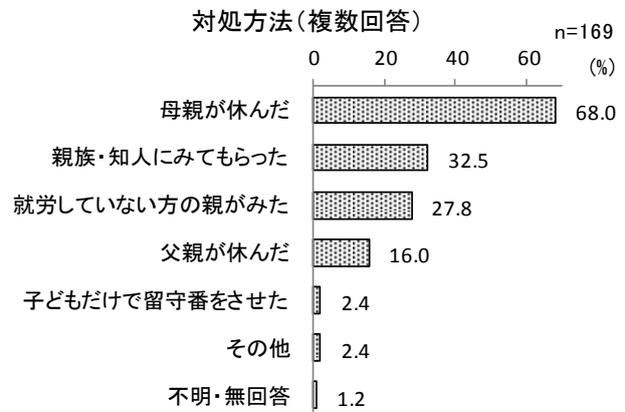
①事業を利用できなかったことの有無

・平日に幼稚園・保育所（園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用している240人のうち、70.4%がこの1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがあった。



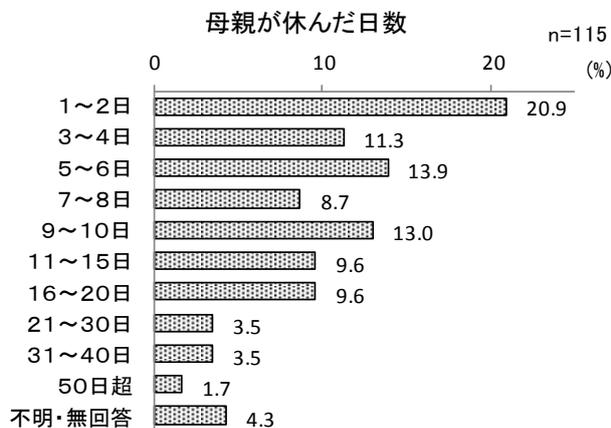
②対処方法

・事業を利用できないときの対処方法は、「母親が休んだ」が68.0%で最も多い。以下、「親族・知人にみてもらった」が32.5%、「就労していない方の親がみた」が27.8%で、「父親が休んだ」は16.0%。



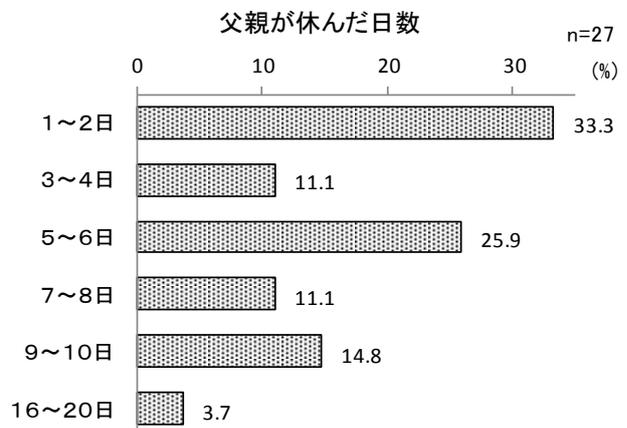
③母親が休んだ日数

・母親が休んだことがあるのは115人で、「1～2日」が20.9%で最も多い。
・7日以上が49.6%を占め、平均は10.3日。



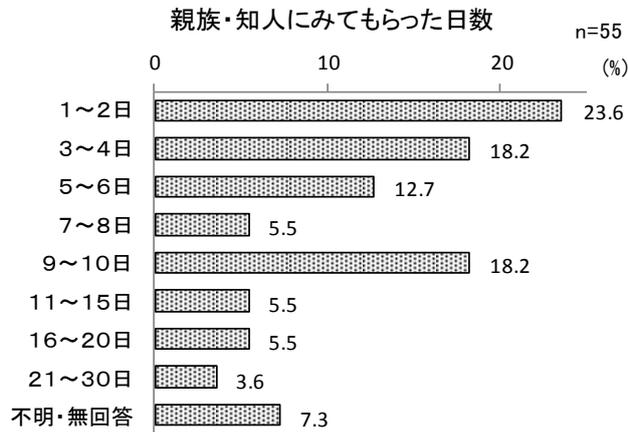
④父親が休んだ日数

・父親が休んだことがあるのは27人で、「1～2日」が33.3%で最も多い。
・70.3%が6日以内で、平均は5.1日。



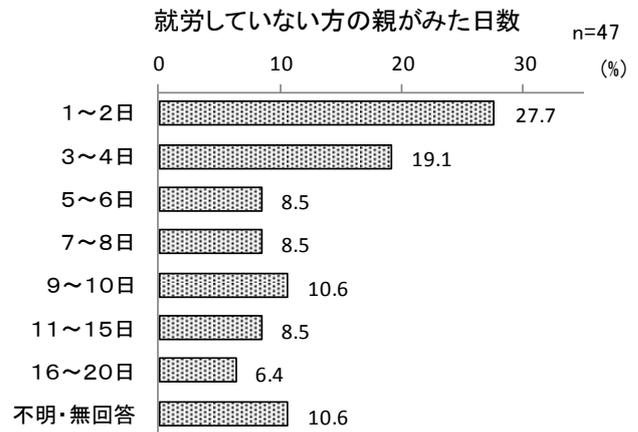
⑤親族・知人にみてもらった日数

- ・親族・知人にみてもらったことがあるのは55人で、「1～2日」が23.6%で最も多い。
- ・54.5%が6日以内で、平均は6.8日。



⑥就労していない方の親がみた日数

- ・就労していない方の親がみたことがあるのは47人で、「1～2日」が27.7%で最も多い。
- ・55.3%が6日以内で、平均は6.4日。



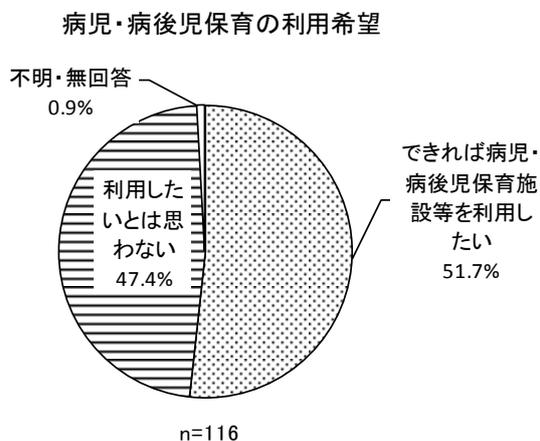
⑦子どもだけで留守番させた日数

- ・子どもだけで留守番させたことがあるのは4人で、うち3人が1日、1人は4日で、平均は1.8日であった。

2) 病児・病後児のための保育施設等の利用

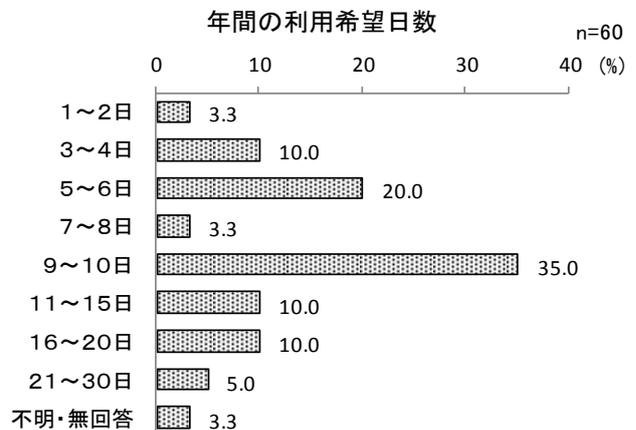
①病児・病後児保育利用希望

- ・母親あるいは父親が休んだことがある116人に対して病児・病後児保育の利用希望を聞いたところ、51.7%ができれば利用したいと回答した。



②年間の利用希望日数

- ・できれば利用したいと回答した場合の利用希望日数は「9～10日」が最も多く、平均は10.3日であった。

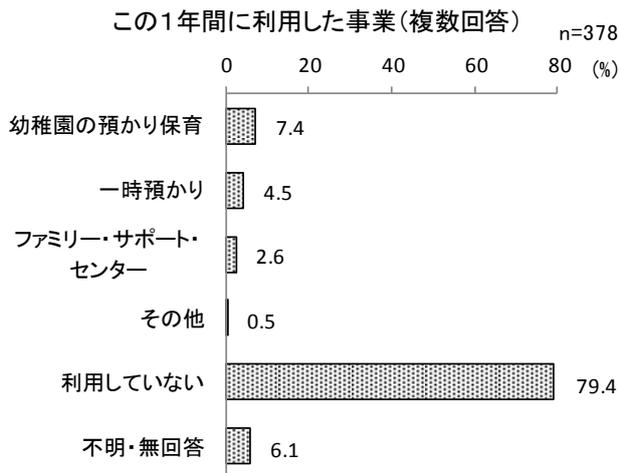


1 1. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等

1) 不定期の教育・保育事業

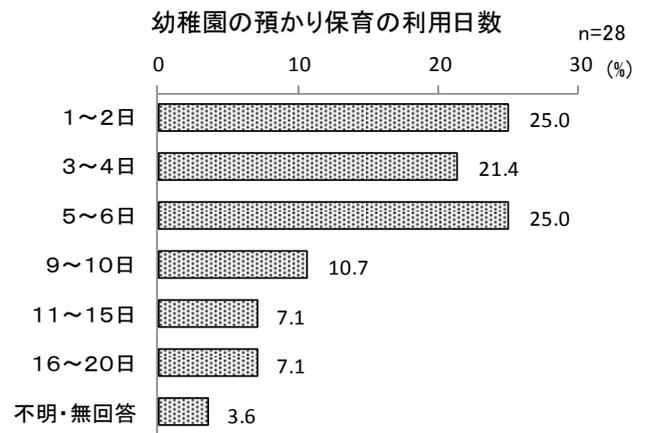
①この1年間に利用した事業

・「幼稚園の預かり保育」が7.4%、「一時預かり」が4.5%、「ファミリー・サポート・センター」が2.6%であった。



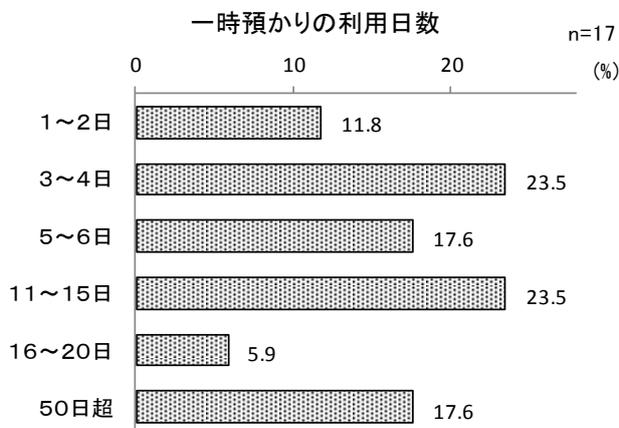
②幼稚園の預かり保育の利用日数

・この1年間に幼稚園の預かり保育を利用したのは28人で、利用日数は6日以内が71.4%、平均利用日数は6.1日であった。



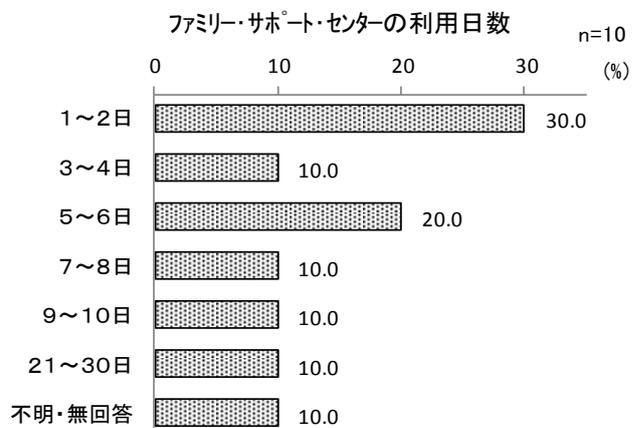
③一時預かりの利用日数

・この1年間に保育所(園)などによる一時預かりを利用したのは17人で、利用日数は6日以内が52.9%を占めたが、平均利用日数は20.3日であった。



④ファミリー・サポート・センターの利用日数

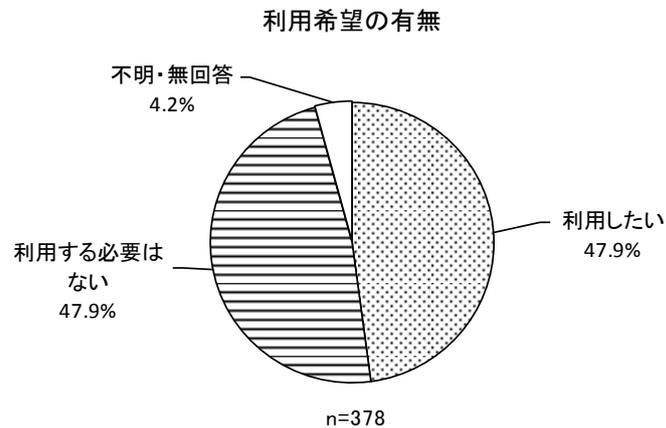
・この1年間にファミリー・サポート・センターを利用したのは10人で、利用日数は6日以内が60.0%を占めた。平均利用日数は5.9日であった。



2) 不定期の教育・保育事業の利用希望

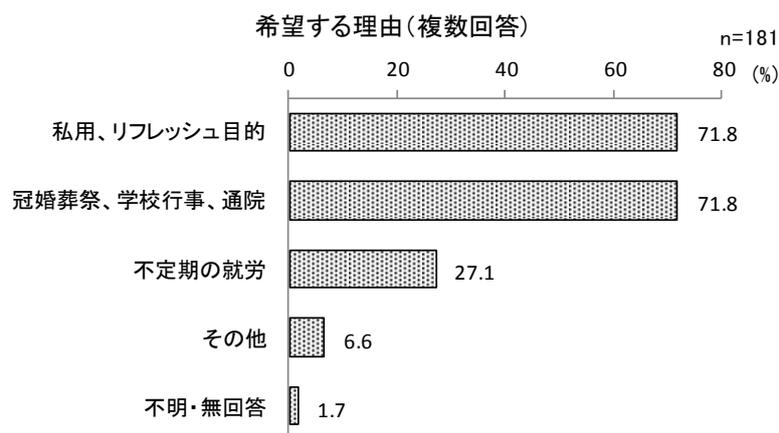
①利用希望の有無

- ・不定期の教育・保育事業を利用する必要があるかについては、全体の47.9%が「利用したい」と回答したが、「利用する必要はない」も同数の47.9%あった。



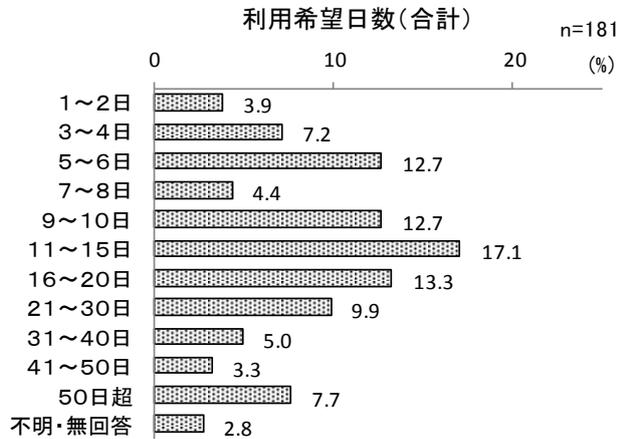
②希望する理由

- ・利用を希望する181人の希望理由は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が71.8%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」も71.8%、「不定期の就労」が27.1%となっている。



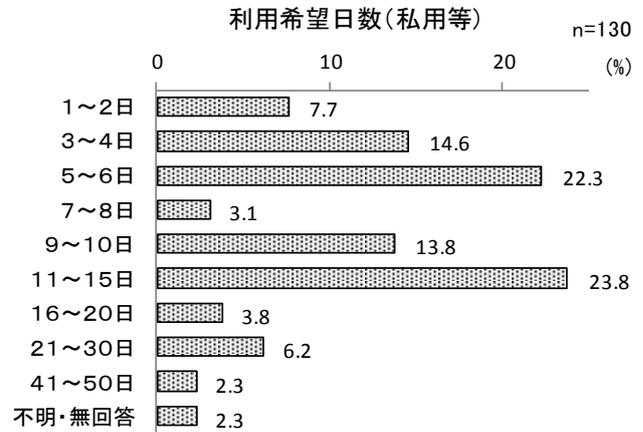
③利用希望日数（合計）

・年間の利用希望日数の合計の平均は19.2日であった。



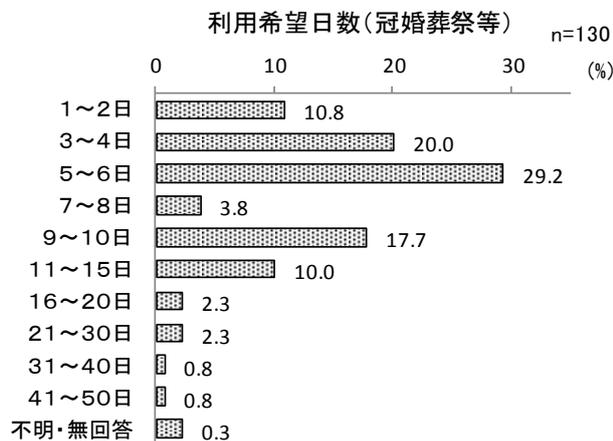
④利用希望日数（私用等）

・私用やリフレッシュ目的の年間の利用希望日数の平均は9.9日であった。



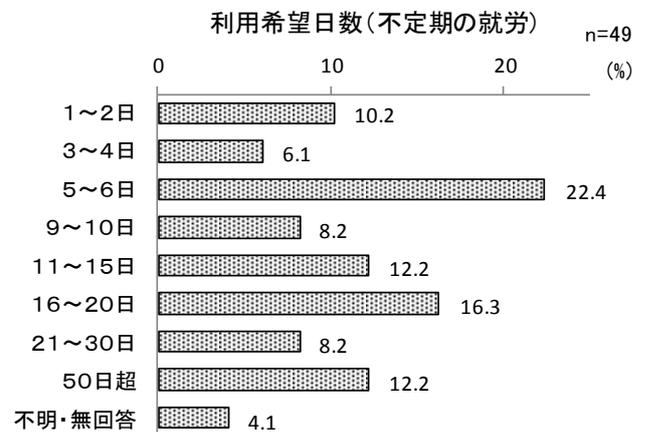
⑤利用希望日数（冠婚葬祭等）

・冠婚葬祭や学校行事、子供や親の通院等による年間の利用希望日数の平均は7.5日であった。



⑥利用希望日数（不定期の就労）

・不定期の就労による年間の利用希望日数の平均は18.4日であった。



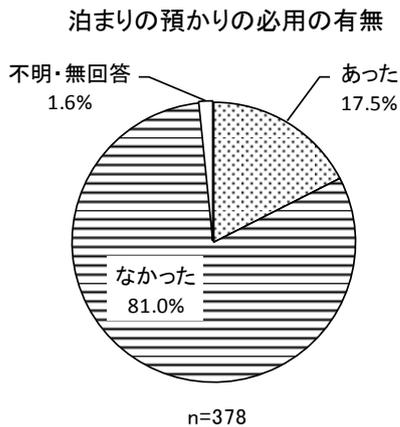
⑦利用希望日数（その他）

・その他（私用等、冠婚葬祭等、不定期の就労以外）の理由が12人あり、年間の利用希望日数の平均は14.1日であった。

3) 宿泊を伴う一時預かり

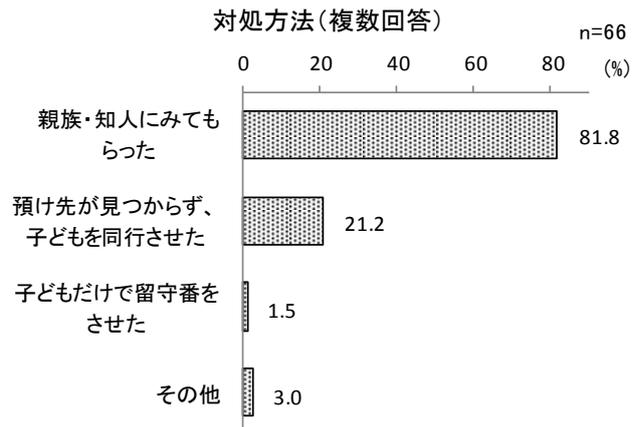
①泊まりの預かりの必要の有無

・この1年間に泊まりの預かりの必要があったかについては、全体の17.5%が「あった」と回答している。



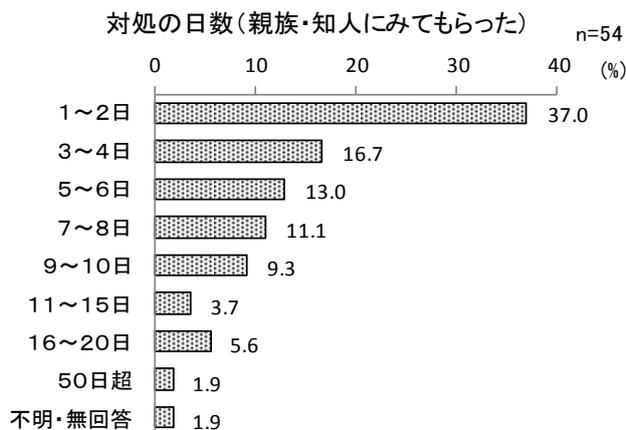
②対処方法

・必要があったと回答したのは66人で、対処方法としては「親族・知人にみてもらった」が81.8%で最も多い。



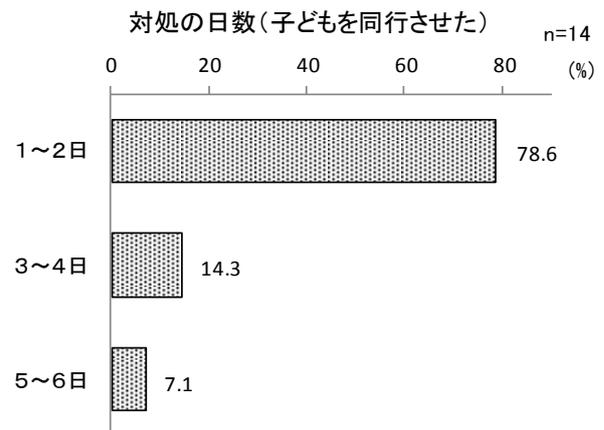
③対処の日数(親族・知人にみてもらった)

・この1年間に親族・知人にみてもらった日数は「1~2日」が37.0%を占めるが、日数の平均は6.2日であった。



④対処の日数(子どもを同行させた)

・この1年間に預け先が見つからず子どもを同行させた日数は「1~2日」が78.6%を占め、平均は1.9日であった。

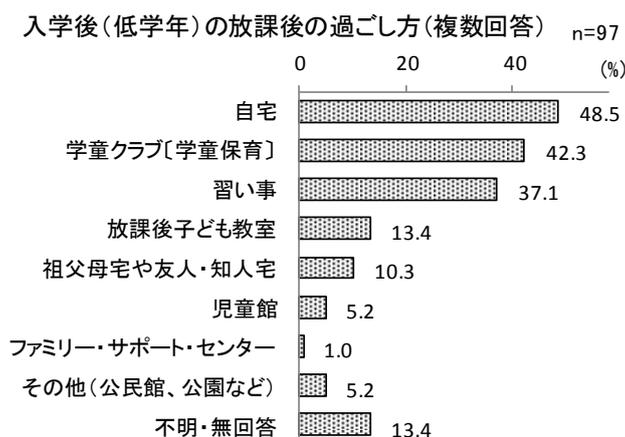


1 2 . 小学校就学後の放課後の過ごし方

1) 入学後（低学年）の放課後の過ごし方（子どもの年齢 5 歳以上が回答）

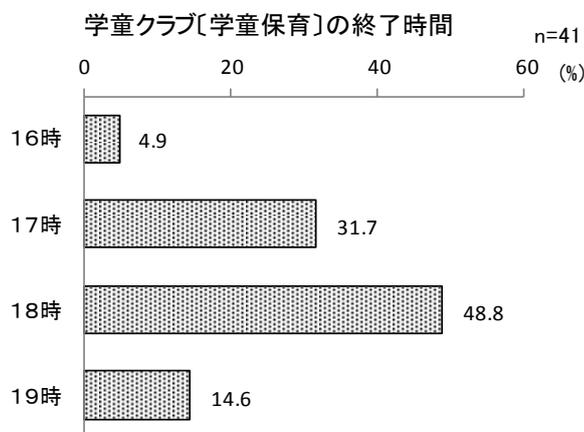
①入学後（低学年）の放課後の過ごし方

- ・子どもの年齢が 5 歳以上の 97 人に対して入学後（低学年）の放課後の過ごし方を聞いたところ、「自宅」（48.5%）以外では「学童クラブ〔学童保育〕」が 42.3%で最も多く、続いて「習い事」が 37.1%となっている。



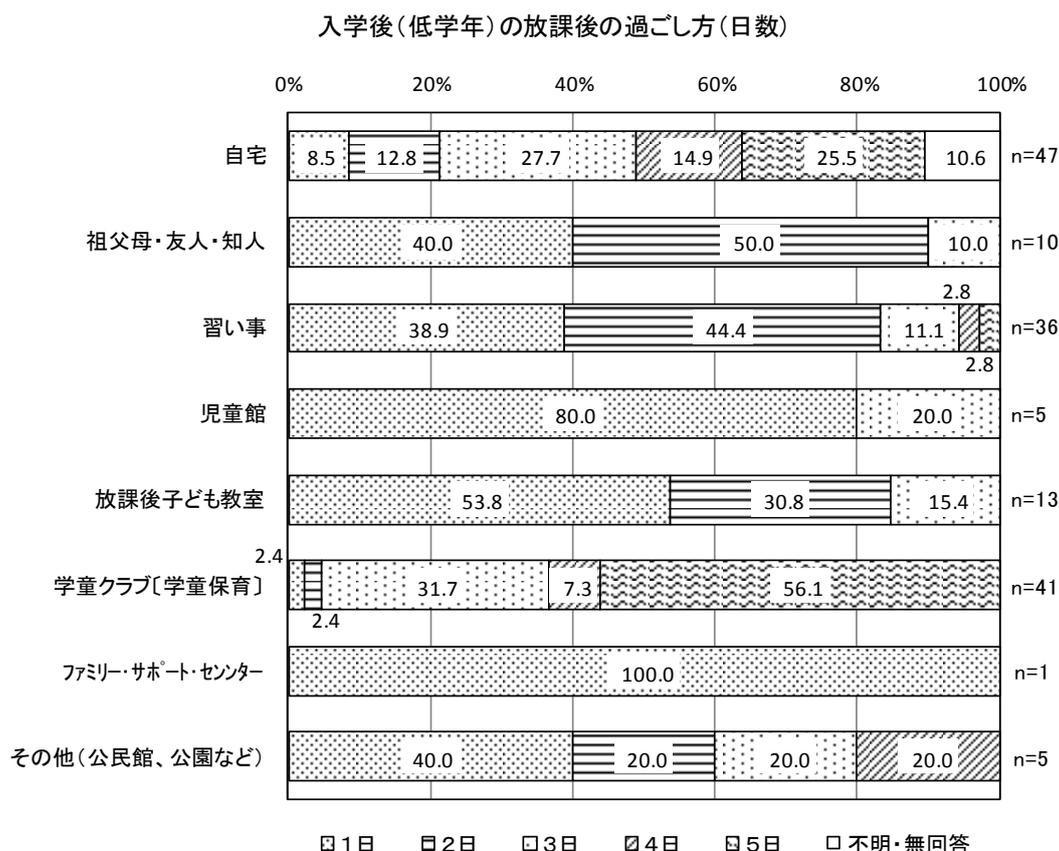
②学童クラブ〔学童保育〕の終了時間

- ・「学童クラブ〔学童保育〕」をあげたのは 41 人で、希望する終了時間は「18 時」が 48.8%を占めている。8 割以上が「18 時」までの終了を考えているが、14.6%（6 人）と少数ではあるものの「19 時」までの希望がある。



③入学後（低学年）の放課後の過ごし方（日数）

- ・「学童クラブ〔学童保育〕」の利用希望者の56.1%は、平日は毎日利用することを希望している。希望者の週当たり平均日数は4.0日であった。
- ・「習い事」を希望する36人のうち61.1%は週2日以上を希望している。希望者の週当たり平均日数は1.6日であった。
- ・「放課後子ども教室」の利用希望は13人にとどまったが、46.2%が週2～3日の利用を希望している。希望者の週当たり平均日数は1.4日であった。



各項目選択者別の週当たり平均日数

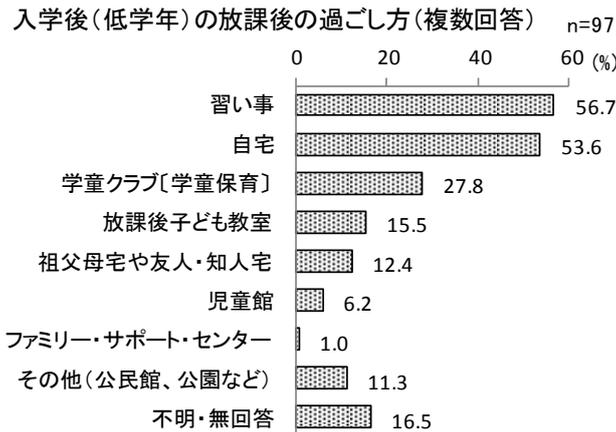
項目	n	週当たり平均日数
自宅	47	3.1日
祖父母・友人・知人	10	1.4日
習い事	36	1.6日
児童館	5	1.2日
放課後子ども教室	13	1.4日
学童クラブ〔学童保育〕	41	4.0日
ファミリー・サポート・センター	1	0.6日
その他	5	1.9日

※各項目の合計日数が5日を超える回答については、合計が5日になるよう平準化した。

2) 入学後（高学年）の放課後の過ごし方（子どもの年齢5歳以上が回答）

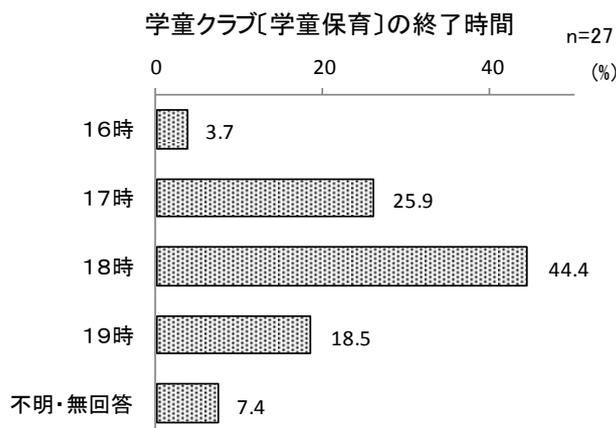
①入学後（高学年）の放課後の過ごし方

- 子どもの年齢が5歳以上の97人に対して入学後（高学年）の放課後の過ごし方を聞いたところ、「習い事」が56.7%で最も多かった。「学童クラブ〔学童保育〕」は27.8%で低学年（42.3%）に比較して利用希望は少なくなっている。



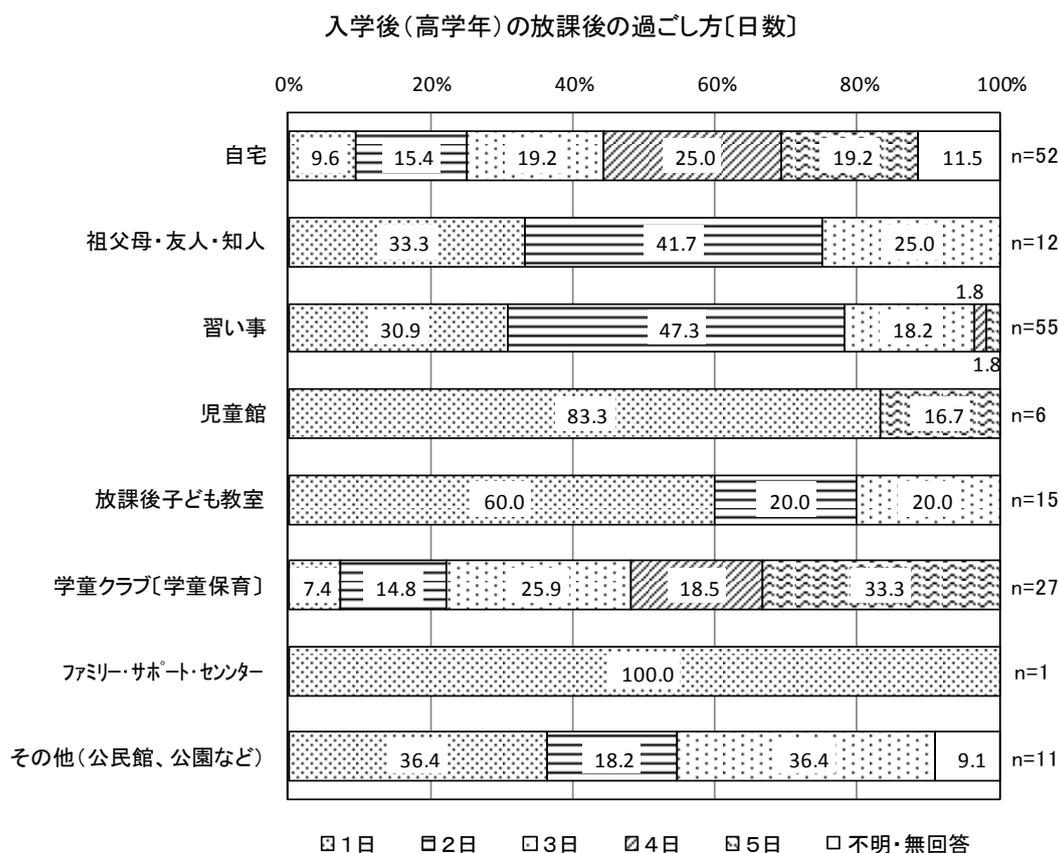
②学童クラブ〔学童保育〕の終了時間

- 「学童クラブ〔学童保育〕」をあげたのは27人で、希望する終了時間は「18時」が44.4%を占めている。74.0%が「18時」までの終了を考えているが、18.5%（5人）は「19時」までを希望している。



③入学後（高学年）の放課後の過ごし方（日数）

- ・「習い事」を希望する 55 人のうち 69.1%は週 2 日以上を希望している。希望者の週当たり平均日数は 1.7 日であった。
- ・「学童クラブ〔学童保育〕」の利用希望者のうち、平日は毎日利用することを希望しているのは 33.3%で、希望者の週当たり平均日数は 3.3 日であった。
- ・「放課後子ども教室」の利用希望は 15 人で、その 4 割が週 2～3 日の利用を希望している。希望者の週当たり平均日数は 1.4 日であった。



各項目選択者別の週当たり平均日数

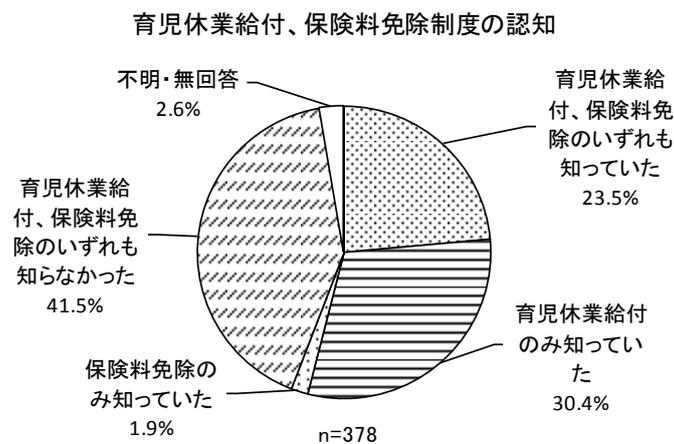
項目	n	週当たり平均日数
自宅	52	3.1 日
祖父母・友人・知人	12	1.6 日
習い事	55	1.7 日
児童館	6	1.6 日
放課後子ども教室	15	1.4 日
学童クラブ〔学童保育〕	27	3.3 日
ファミリー・サポート・センター	1	1.0 日
その他	11	1.7 日

※各項目の合計日数が 5 日を超える回答については、合計が 5 日になるよう平準化した。

1 3. 職場の両立支援制度

1) 育児休業給付、保険料免除制度の認知

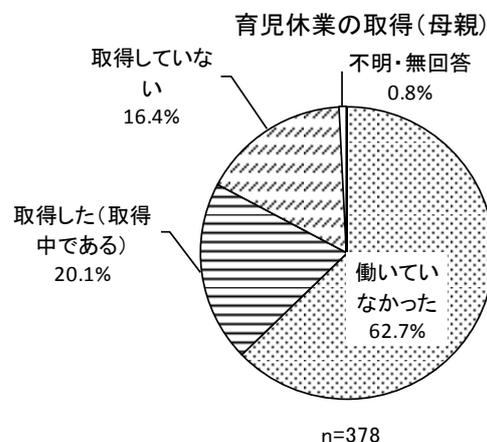
- ・ 育児休業給付（子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み）や、保険料免除（子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み）については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が23.5%、「育児休業給付のみ知っていた」が30.4%、「保険料免除のみ知っていた」が1.9%で、「いずれも知らなかった」が41.5%あった。



2) 母親の育児休業の取得

① 育児休業の取得

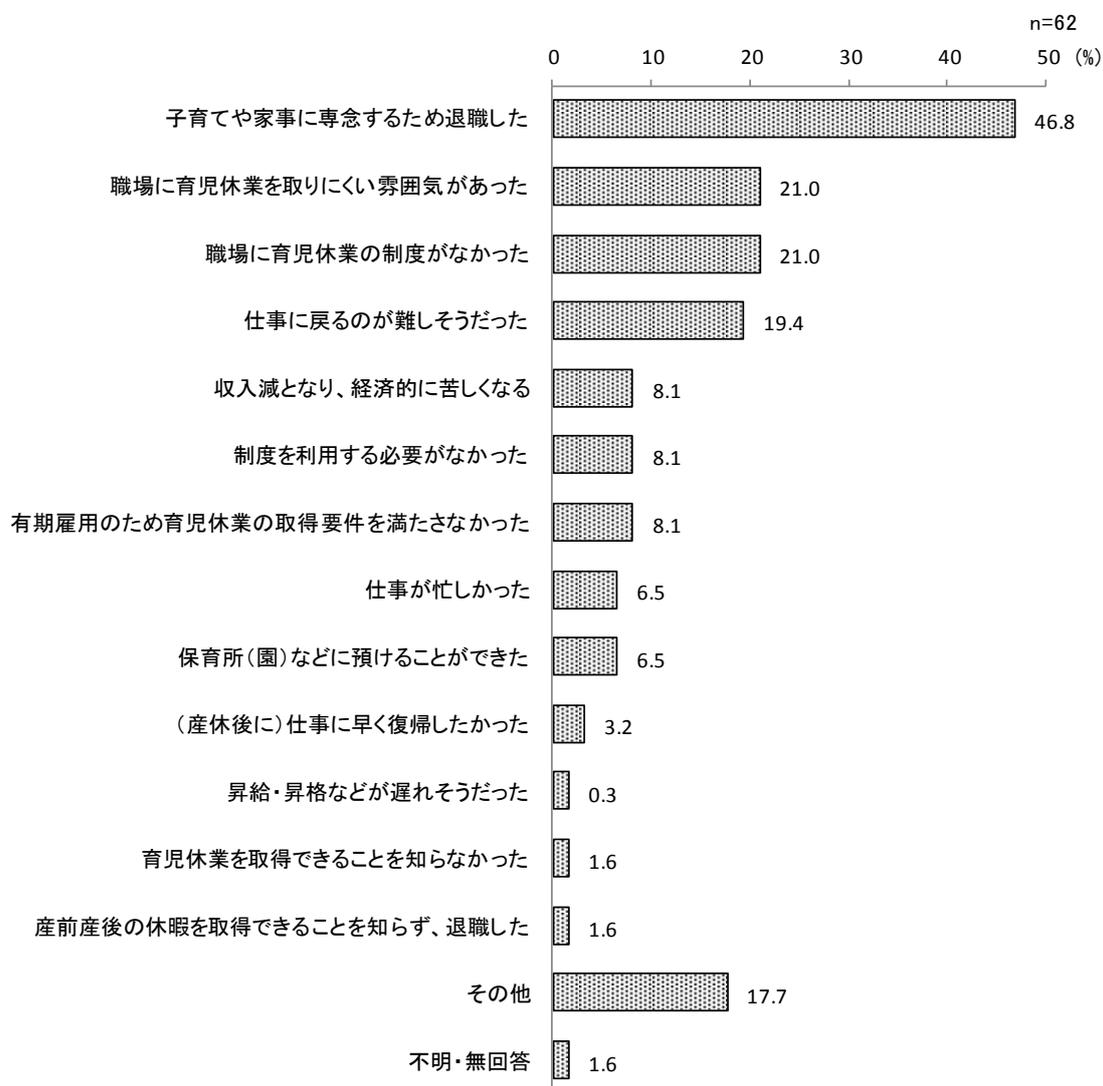
- ・ 「働いていなかった」が62.7%。
- ・ 「取得した（取得中である）」は20.1%、「取得していない」は16.4%で、働いていた138人のうち取得した（取得中である）のは55.1%。



②育児休業を取得していない理由

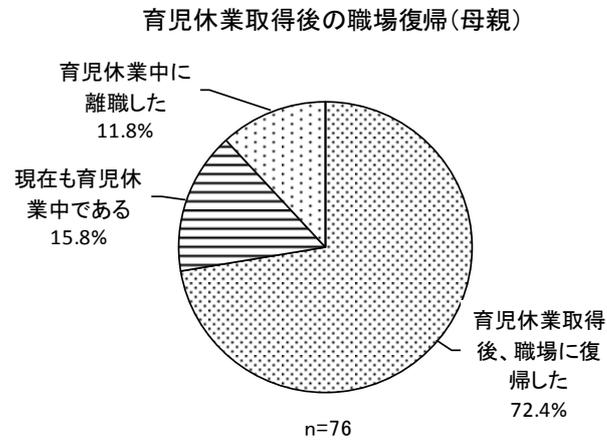
- ・育児休業を取得していないと回答したのは62人。
- ・「子育てや家事に専念するため退職した」が46.8%で最も多い。
- ・次に、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(21.0%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(21.0%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(19.4%)が多い。
- ・その他の理由としては、自営業やフリーランス(4人)、職場が遠い(3人)など。

育児休業を取得していない理由(母親・複数回答)



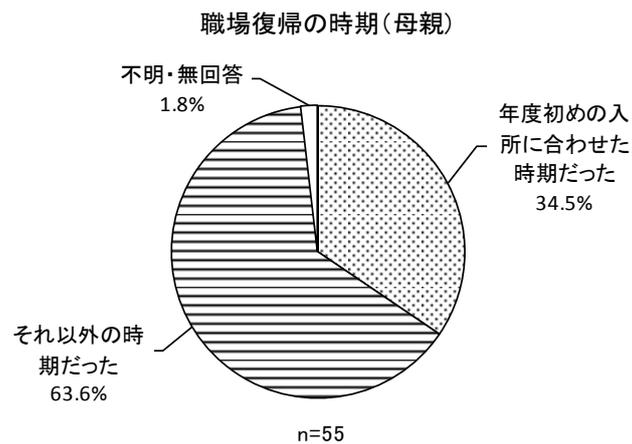
③育児休業取得後の職場復帰

・育児休業を取得した（取得中である）76人のうち、72.4%が取得後職場に復帰している。



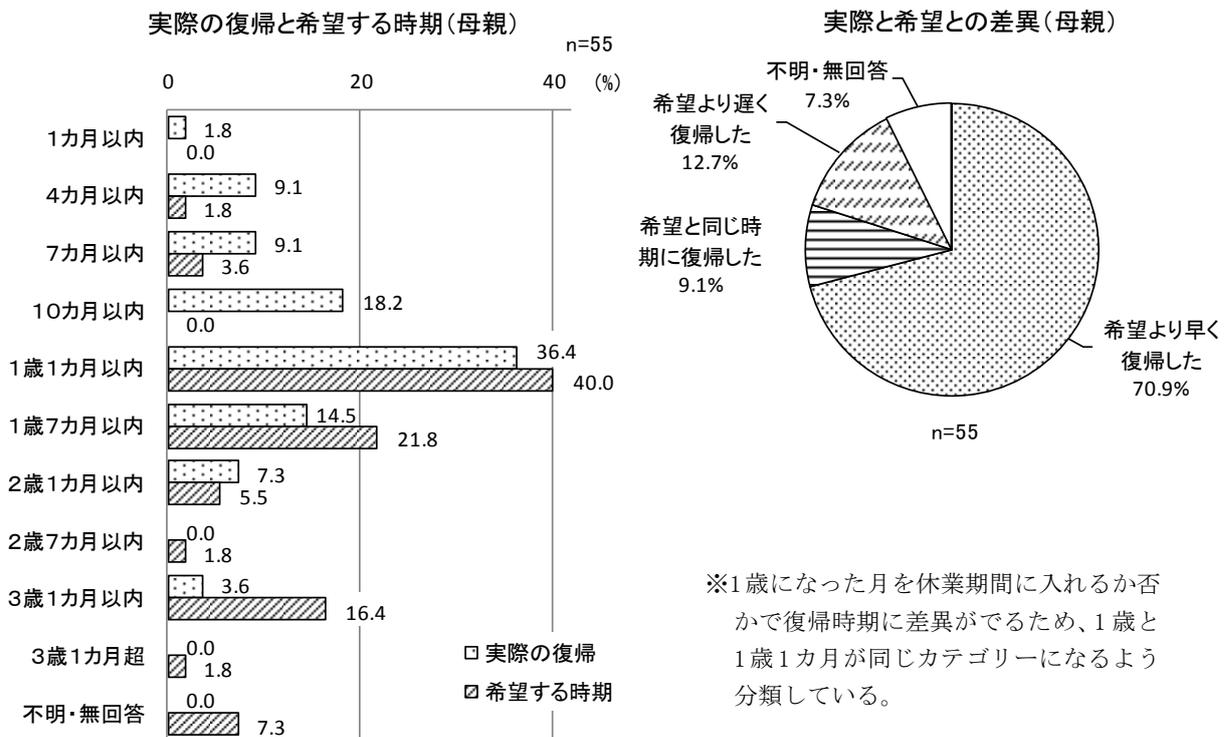
④職場復帰と認可保育所（園）入所の時期

・職場復帰した55人のうち、年度始めの認可保育所（園）入所の時期に合わせて復帰したのは34.5%であった。



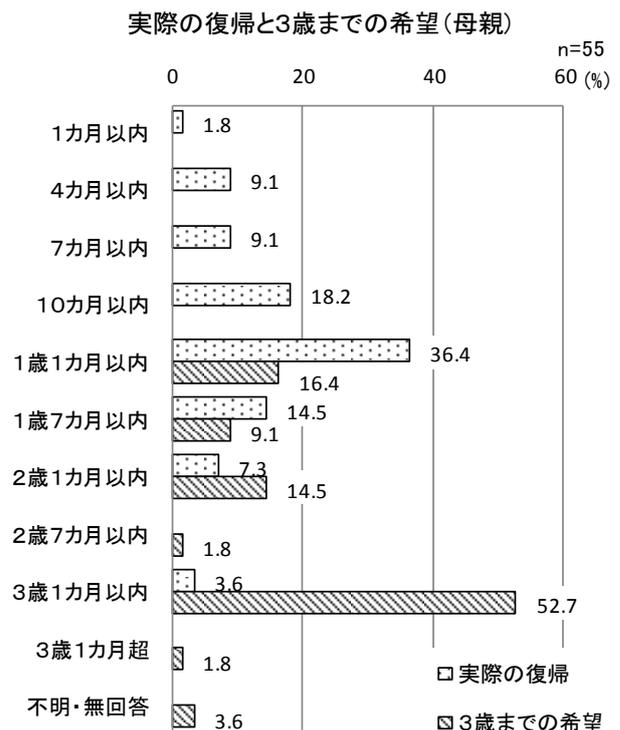
⑤ 職場復帰時の子どもの年齢と希望する時期

- ・ 実際の復帰時期は1歳頃が最も多く、1歳1カ月までに74.6%が職場復帰している。
- ・ 希望時期でも1歳頃が最も多いが、87.3%が概ね1歳以上、47.3%が概ね1歳半以上を希望している。
- ・ 実際の復帰時期と希望との差異では、70.9%が希望より早く復帰している。



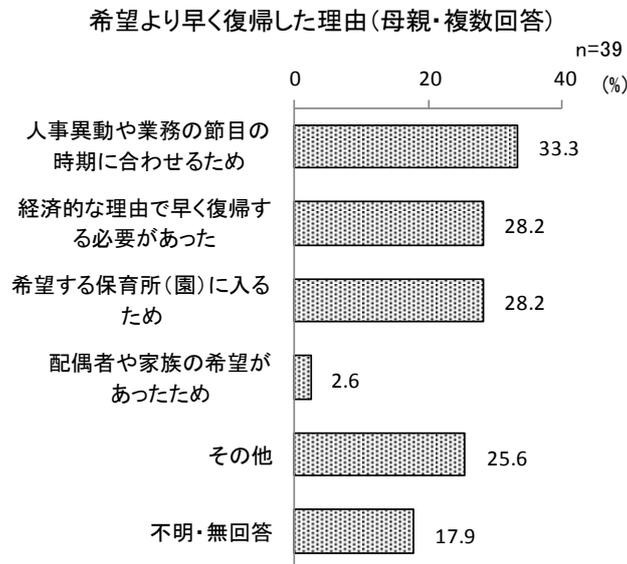
⑥ 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期

- ・ 育児休業取得後に職場復帰した55人について、勤め先に育児のために3歳まで休暇を取れる制度があった場合の希望を聞いたところ、3歳まで取りたいという回答が52.7%を占め、有効回答者の全員が概ね1歳になった以降の復帰を希望した。



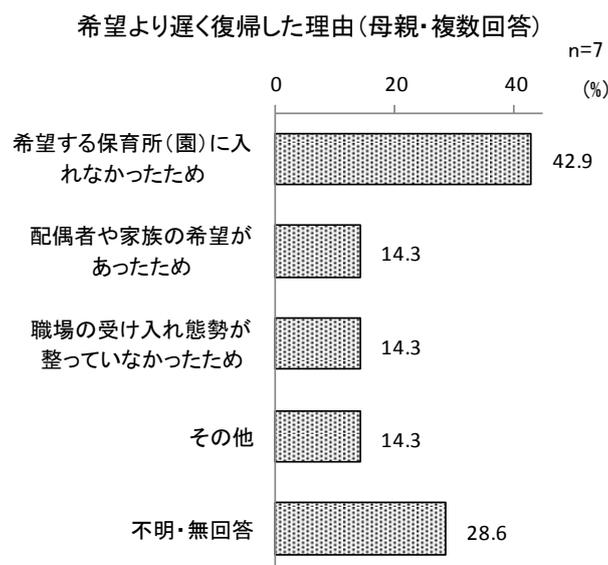
⑦希望より早く復帰した理由

- ・希望より早く復帰した 39 人の理由としては、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」「希望する保育所（園）に入るため」がほぼ拮抗している。



⑧希望より遅く復帰した理由

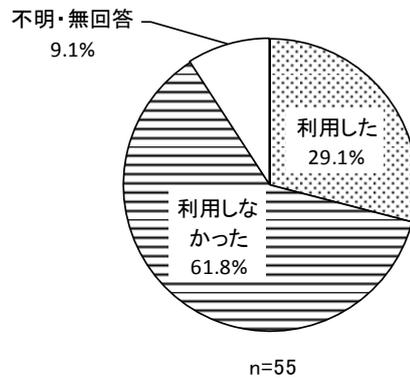
- ・希望より遅く復帰した 7 人の理由としては、「保育所（園）に入れなかったため」が 42.9% で最も多い。



⑨職場復帰時の短時間勤務制度の利用

- ・育児休業取得後に職場復帰した55人について、職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無を聞いたところ、「利用した」は29.1%にとどまった。

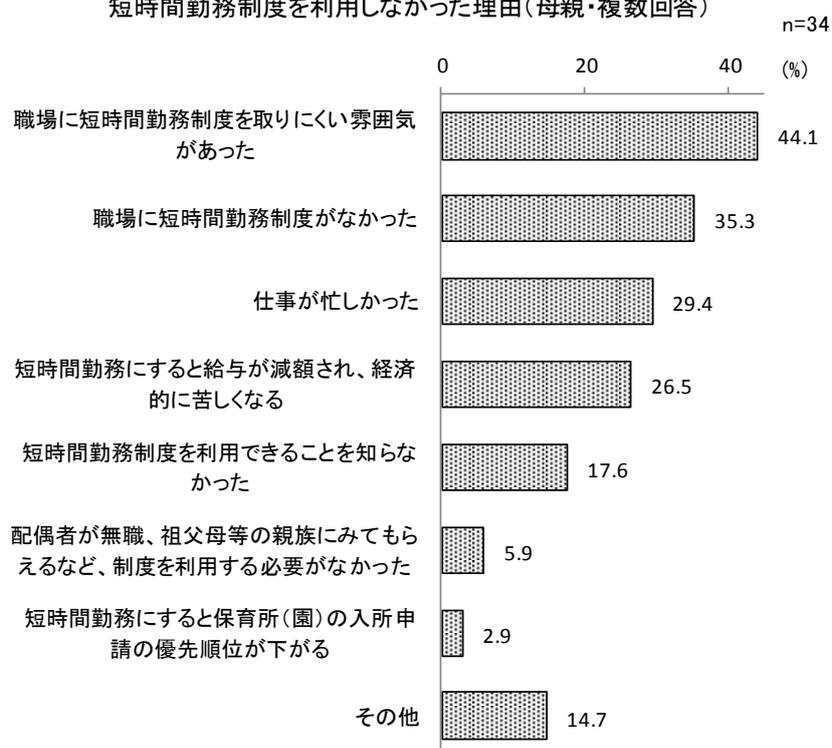
職場復帰時の短時間勤務制度の利用(母親)



⑩短時間勤務制度を利用しなかった理由

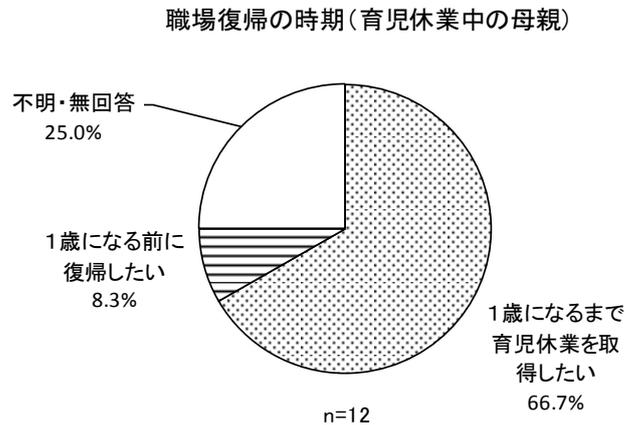
- ・職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった34人について利用しなかった理由を聞いたところ、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が44.1%で最も多く、続いて、「職場に短時間勤務制度がなかった」が35.3%、「仕事が忙しかった」が29.4%、「短時間勤務制度を利用すると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が26.5%となった。

短時間勤務制度を利用しなかった理由(母親・複数回答)



⑪育児休業中の場合の希望する職場復帰の時期

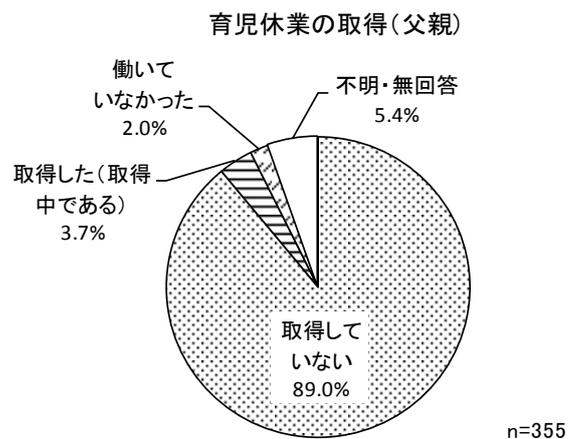
- ・現在育児休業中の12人について、1歳になった時に利用できる事業があれば1歳になるまで育児休業を取得するかを聞いたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が66.7%を占め、「1歳になる前に復帰したい」は8.3%（1人）にとどまった。



3) 父親の育児休業の取得

①育児休業の取得

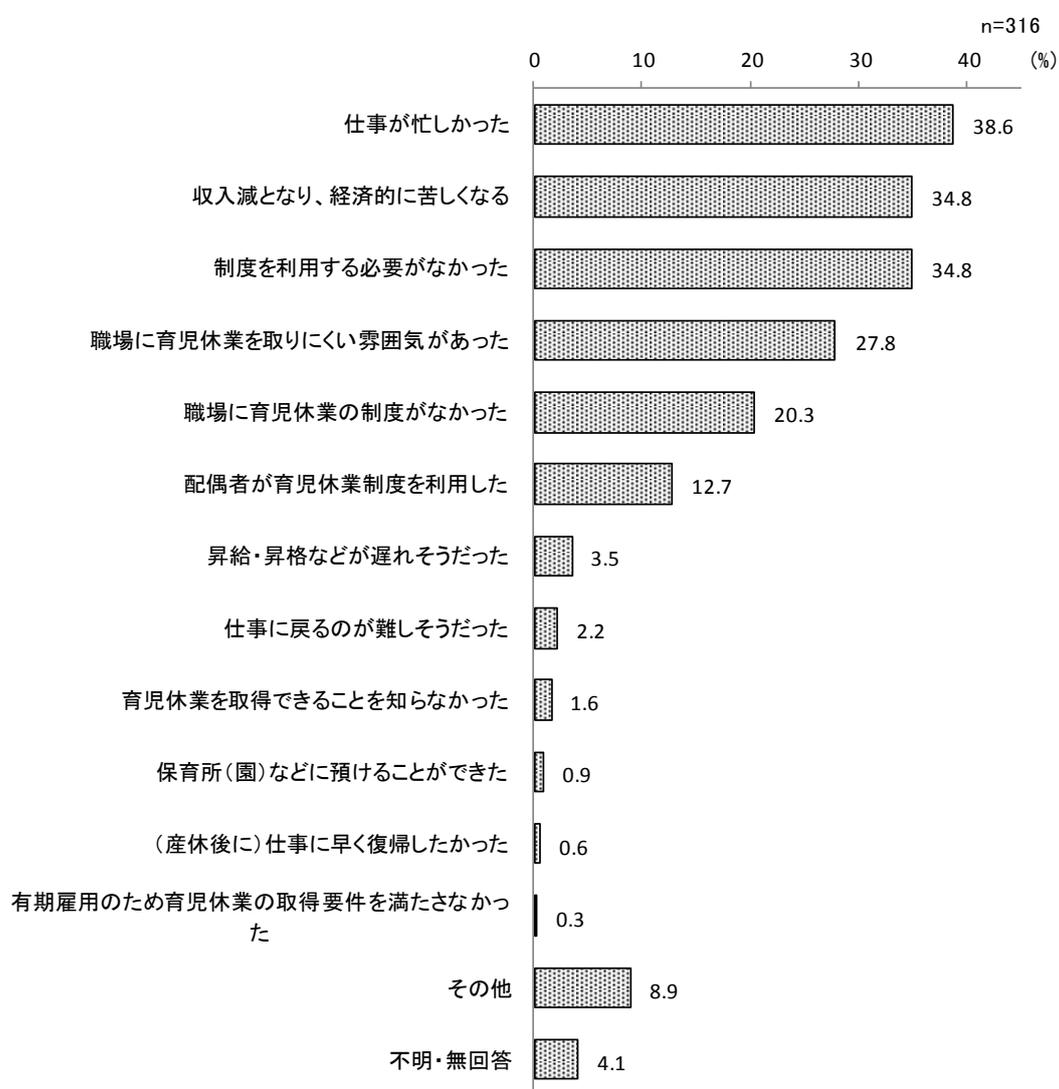
- ・「取得していない」が89.0%を占める。
- ・「取得した（取得中である）」は3.7%にとどまった。



②育児休業を取得していない理由

- ・育児休業を取得していないと回答したのは316人。
- ・「仕事が忙しかった」が38.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が34.8%で、職場や経済的理由の影響が大きい。
- ・「制度を利用する必要がなかった」も34.8%あった。
- ・「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」は27.8%で母親の場合（21.0%）より6.8ポイント高い。

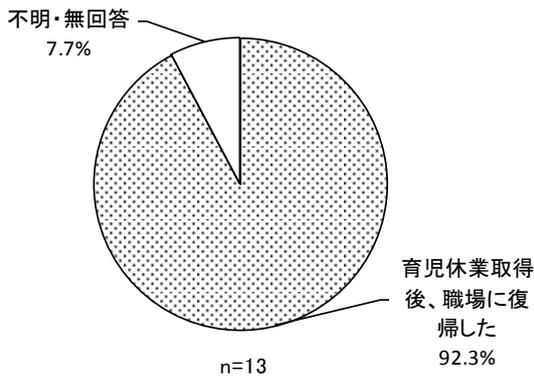
育児休業を取得していない理由(父親・複数回答)



③育児休業取得後の職場復帰

- ・育児休業を取得した（取得中である）13人のうち、1人の不明を除く12人全てが取得後に職場に復帰している。

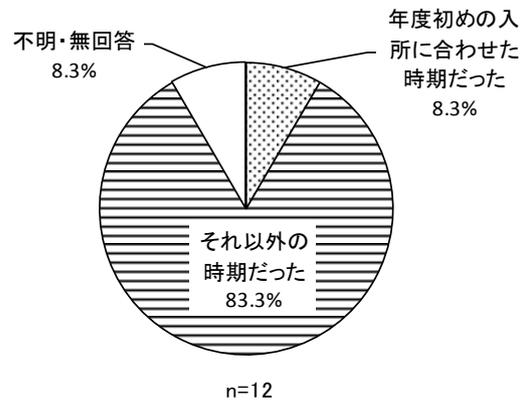
育児休業取得後の職場復帰（父親）



④職場復帰と認可保育所（園）入所の時期

- ・職場復帰した12人のうち、年度始めの認可保育所（園）入所の時期に合わせて復帰したのは8.3%（1人）であった。

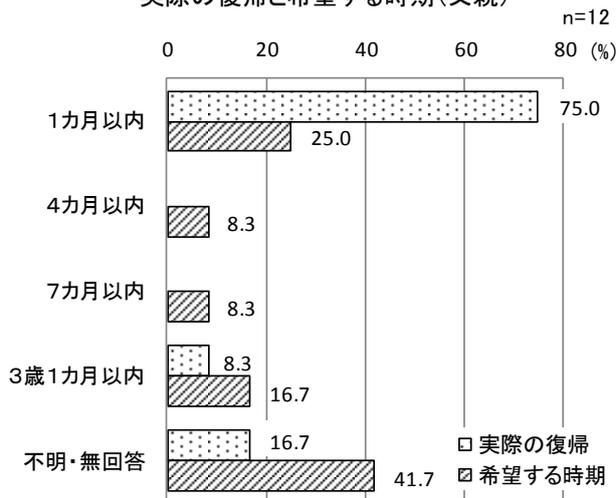
職場復帰の時期（父親）



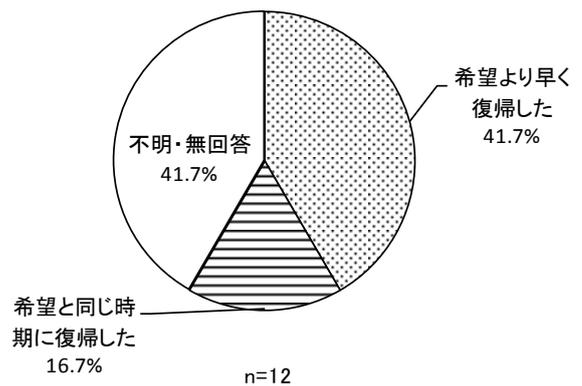
⑤職場復帰時の子どもの年齢と希望する時期

- ・実際の復帰時期は1カ月以内が75.0%で最も多いが、希望時期では1カ月以内は25.0%にとどまる。
- ・実際の復帰時期と希望との差異では、41.7%が希望より早く復帰している。

実際の復帰と希望する時期（父親）



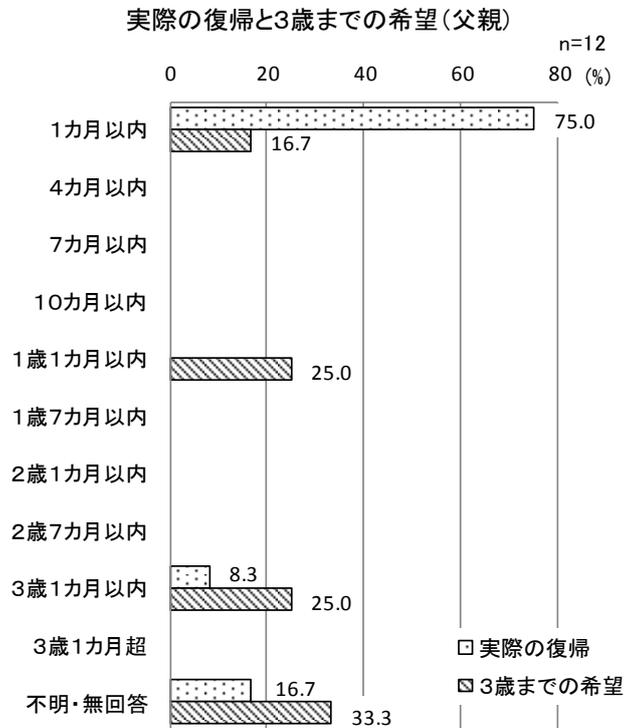
実際と希望との差異（父親）



※1歳になった月を休業期間に入れるか否かで復帰時期に差異がでるため、1歳と1歳1カ月が同じカテゴリーになるよう分類している。

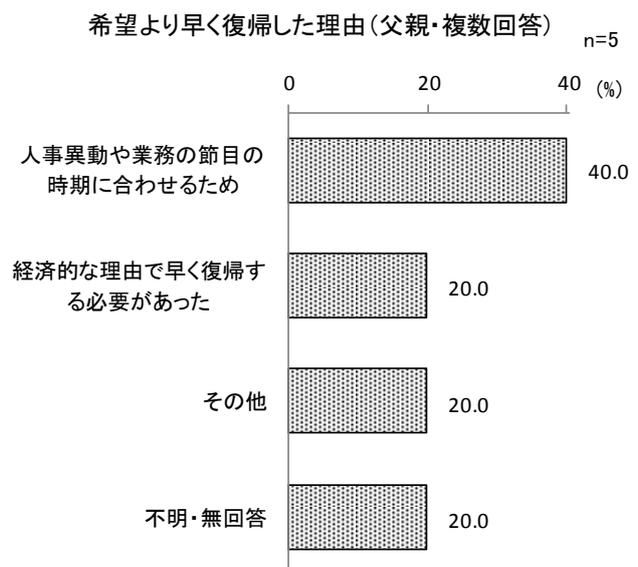
⑥ 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期

・育児休業取得後に職場復帰した12人について、勤め先に育児のために3歳まで休暇を取れる制度があった場合の希望を聞いたところ、3歳までと1歳までがそれぞれ25.0%あった。



⑦ 希望より早く復帰した理由

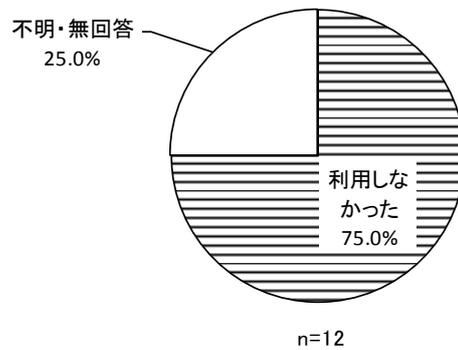
・希望より早く復帰した5人の理由としては、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が40.0% (2人)、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が20.0% (1人)、その他として「会社の都合」20.0% (1人)があげられていた。



⑧職場復帰時の短時間勤務制度の利用

- ・育児休業取得後に職場復帰した12人について、職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無を聞いたところ、不明を除く9人全てが「利用しなかった」と回答した。

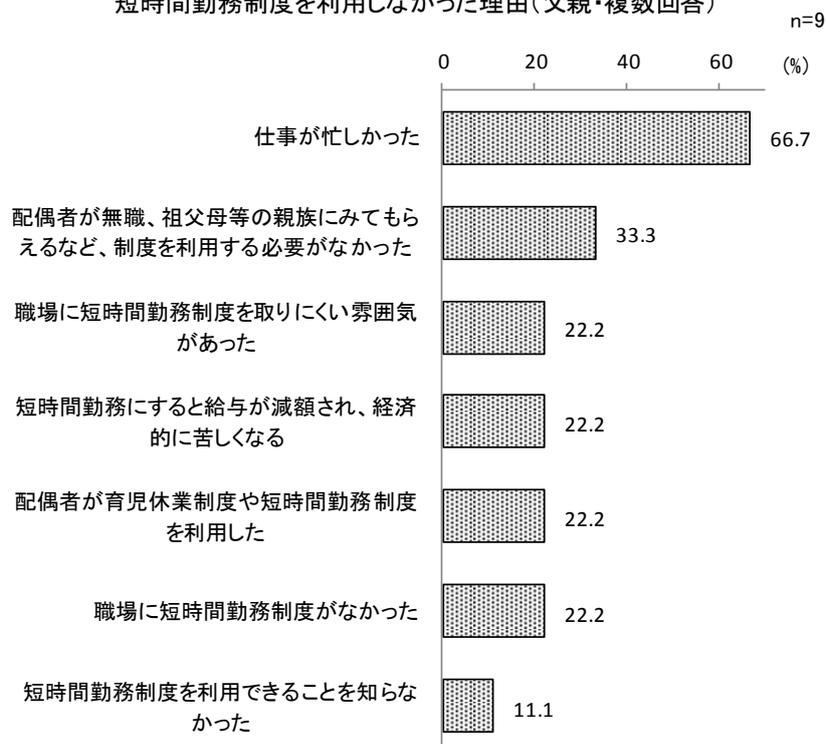
職場復帰時の短時間勤務制度の利用(父親)



⑨短時間勤務制度を利用しなかった理由

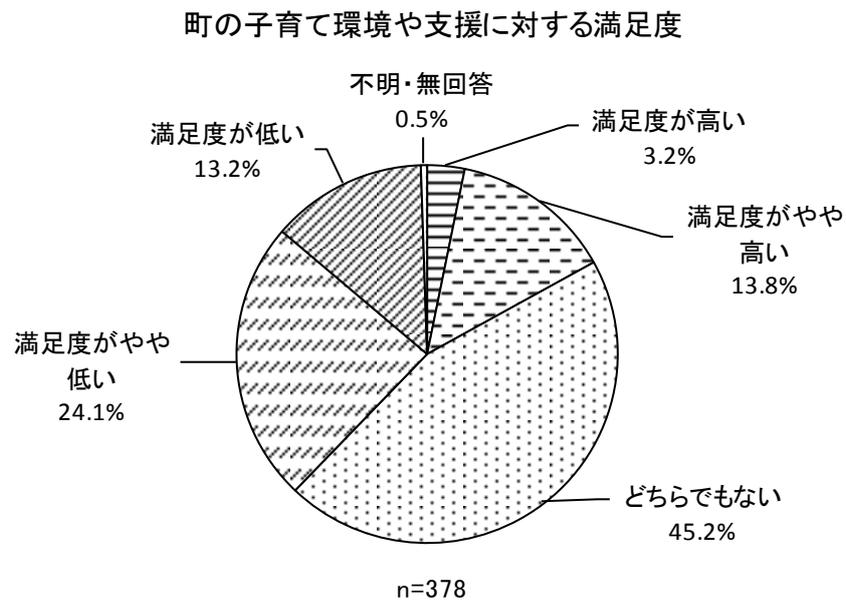
- ・職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった9人について利用しなかった理由を聞いたところ、「仕事が忙しかった」が66.7% (6人) で最も多く、続いて、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が33.3% (3人) となった。

短時間勤務制度を利用しなかった理由(父親・複数回答)



1 4. 町の子育て環境や支援に対する満足度

- ・「満足度が高い」が 3.2%、「満足度がやや高い」が 13.8%で、合わせて 17.0%が満足傾向。
- ・「満足度が低い」が 13.2%、「満足度がやや低い」が 24.1%で、合わせて 37.3%が不満を示している。



15. 自由意見のまとめ

自由意見の内容を分類し、主な意見として以下の6項目にまとめた。なお、1) 子どもを預けることに関する要望については、特定のサービスにこだわらず預かってもらえる所が欲しいという希望が感じられるため、多様なサービスをとりまとめて集計している。

自由意見の概要

- 1) 子どもを預けることに関する要望 (68人)
- 2) 保育園に関する要望 (63人)
- 3) 公園に関する要望 (47人)
- 4) 幼稚園に関する要望 (29人)
- 5) 子育て支援センターに関する要望 (22人)
- 6) 病院に関する要望 (18人)

1) 子どもを預けることに関する要望について (68人)

(病児・病後児保育、学童保育、一時預かり、預かり保育、ファミリー・サポート・センター、家庭的保育等)

【主な内容】

- ①病児・病後児保育に関する要望 (21人)
 - ・病児・病後児保育を充実させて欲しい
 - ・緊急の時に即対応できるところがあると助かる 等
- ②学童保育に関する要望 (16人)
 - ・夏休みなどの長期休暇中に学童を利用したい
 - ・夏休みなどの長期休暇の時には給食を出して欲しい
 - ・終了時間を延長して欲しい (現状では保育園より早い)
 - ・勤務日数や時間などの条件を付けるのはやめて欲しい 等
- ③一時預かり、預かり保育に関する要望 (12人)
 - ・短時間でも気軽にすぐ預けられる場所があればいいと思う 等
- ④ファミリー・サポート・センターに関する要望 (10人)
 - ・利用料金を安くして欲しい
 - ・もっと情報提供して欲しい 等
- ⑤休日 (学校・幼稚園の休日を含む) の保育に関する要望 (7人)
 - ・土曜日、日曜日に預かってもらえる場所がない
 - ・夏休みなどの長期休暇の時に預かってもらえる場所がない 等

2) 保育園に関する要望について (63 人)

【主な内容】

①利用時間に関する要望 (18 人)

- ・ 保育時間を延長 (朝を早く、夕を遅く) して欲しい
- ・ 今の保育園の利用時間のままではフルタイム勤務が出来ない
- ・ 土曜日の終了時間を平日並みにして欲しい 等

②利用条件に関する要望 (13 人)

- ・ 兄弟がいる場合に同じ保育園に通わせて欲しい
- ・ 保育園利用の就業条件と実際の (または希望する) 就業形態があわない
- ・ 育休復帰の時期や慣らし保育の希望と保育園の利用条件が合わない 等

③利用料に関する要望 (11 人)

- ・ 保育料を安くして欲しい
- ・ パートで働くと収入の半分以上が消える
- ・ 同居家族があっても家計は別なので親の所得で利用料を決めて欲しい 等

④定員に関する要望 (9 人)

- ・ 保育園の数が少ない、空きがない
- ・ 入りたい保育園に入れない
- ・ 仕事に復帰しやすいようにして欲しい 等

⑤行事に関する要望 (5 人)

- ・ 平日に行事があるために仕事を休まなければならない
- ・ 親に対する要望が多かったり、参加を強制されることがある 等

3) 公園に関する要望について (47 人)

【主な内容】

①施設管理に対する要望 (27 人)

- ・ 公園が汚い、砂場も消毒していない
- ・ 雑草がひどいので草刈りをして欲しい
- ・ ゴミ、犬猫のフン、危険物 (ガラスの破片やライターなど) がある 等

②設備の充実に関する要望 (22 人)

- ・ 鉄棒、ブランコなどの遊具を整備して欲しい
- ・ 幼児が遊べる遊具を増やして欲しい
- ・ 遊具が老朽化している 等

③公園の設置に関する要望（11人）

- ・公園が少ない、公園を増やして欲しい
- ・地域によって偏りがある

等

4) 幼稚園に関する要望について（29人）

【主な内容】

①利用料に関する要望（18人）

- ・利用料金を軽減して欲しい、無償化して欲しい
- ・延長保育、預かり保育料を安くして欲しい

等

②情報公開に関する要望（3人）

- ・情報が少ない
- ・園庭開放、プレ保育などで、どんな幼稚園か知りたい

等

5) 子育て支援センターに関する要望について（22人）

【主な内容】

①利用時間や休日対応についての要望（10人）

- ・閉館時間を17時くらいまで延長して欲しい
- ・土曜、日曜も開放して欲しい

等

②情報公開に関する要望（4人）

- ・支援センターのことを知らない人が多い
- ・広報やホームページで情報提供して欲しい

等

6) 病院に関する要望について（18人）

【主な内容】

- ・町内に病院（小児科）が少ない
- ・夜間等の救急外来や、休診日をずらすなどの対応をして欲しい

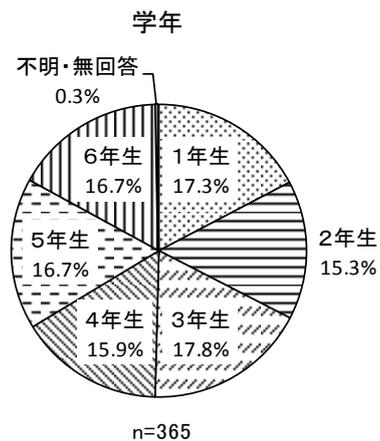
等

Ⅱ. 就学児童保護者用アンケート集計結果

1. 子どもの属性

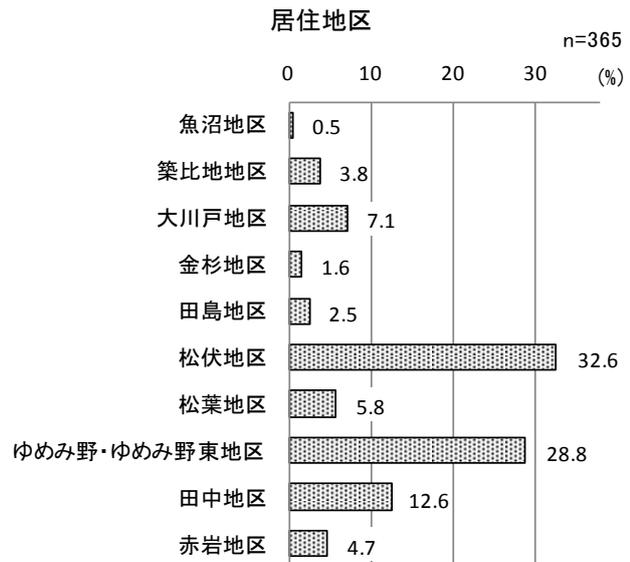
1) 学年

・1年生から6年生までほぼ均等に回答が得られた。



2) 居住地区

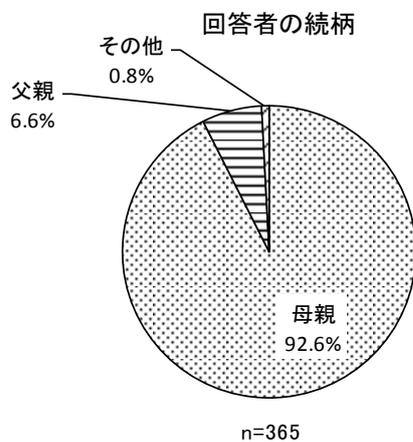
・「松伏地区」が32.6%、「ゆめみ野・ゆめみ野東地区」が28.8%を占める。



2. 回答者の属性

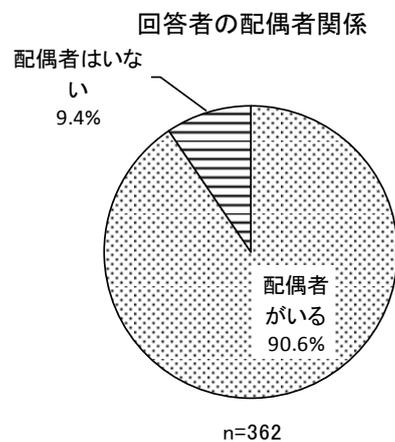
1) 回答者の続柄

・回答者の92.6%が「母親」。



2) 回答者の配偶者関係

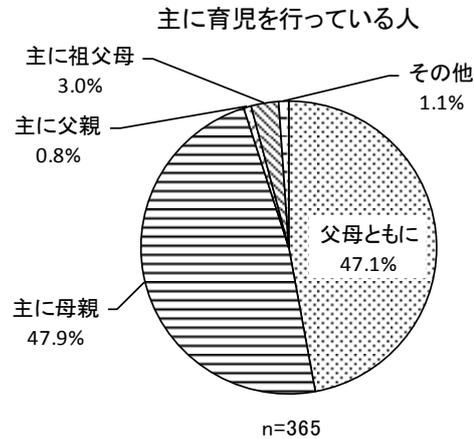
・母親または父親が回答した362人のうち、90.6%に「配偶者がいる」。



3. 育児に関わっている人

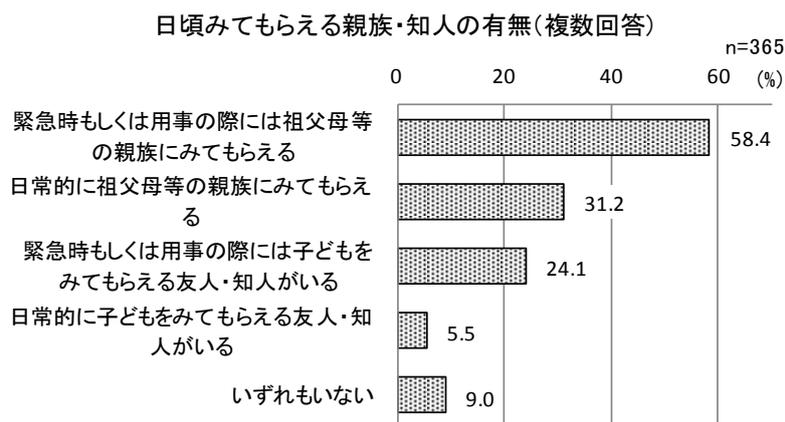
1) 主に育児を行っている人

- ・「主に母親」が47.9%、「父母ともに」が47.1%。



2) 日頃みてもらえる親族・知人の有無

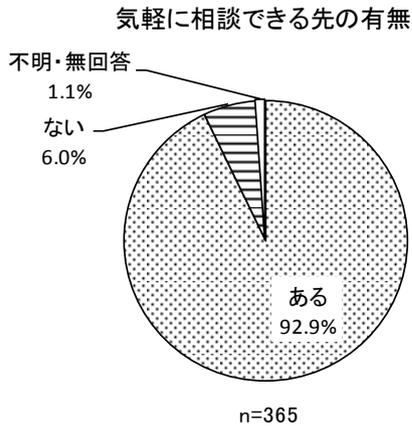
- ・「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は31.2%だが、緊急時もしくは用事の際であれば58.4%が祖父母等の親族にみてもらえる。
- ・「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は24.1%。
- ・「いずれもない」は9.0%。



4. 育児の相談

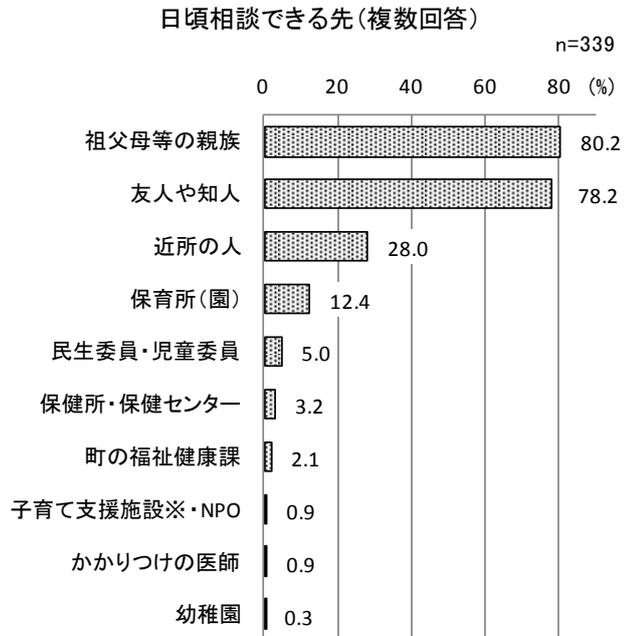
1) 気軽に相談できる先の有無

・育児を気軽に相談できる先が「ある」は92.9%、「ない」は6.0%であった。



2) 相談できる先

・「祖父母等の親族」(80.2%)や「友人や知人」(78.2%)が多い。



※子育て支援施設: 地域子育て支援拠点、児童館等

3) 相談できる先と子どもの年齢との関係

・学年別に顕著な差異はないが、2年生で「友人や知人」「近所の人」「保育所(園)」を上げる割合がやや高く、他の学年に比較して相談先に若干の多様性が感じられる。

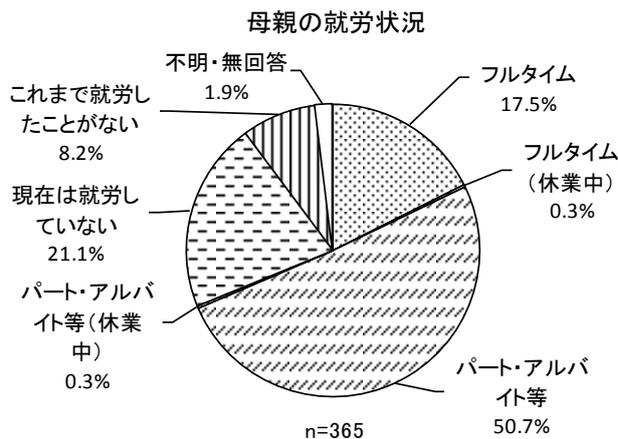
相談できる先と子どもの学年との関係

上段:度数 下段:%	合計	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	保育所(園)	民生委員・児童委員	保健所・保健センター	町の福祉健康課	子育て支援施設・NPO	かかりつけの医師	幼稚園
全体	339 100.0	272 80.2	265 78.2	95 28.0	42 12.4	17 5.0	11 3.2	7 2.1	3 0.9	3 0.9	1 0.3
1年生	56 100.0	44 78.6	42 75.0	10 17.9	4 7.1	4 7.1	2 3.6	3 5.4	-	1 1.8	-
2年生	53 100.0	43 81.1	46 86.8	17 32.1	10 18.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	-
3年生	60 100.0	46 76.7	50 83.3	20 33.3	6 10.0	3 5.0	1 1.7	1 1.7	-	-	-
4年生	54 100.0	44 81.5	42 77.8	16 29.6	5 9.3	2 3.7	1 1.9	1 1.9	-	-	1 1.9
5年生	58 100.0	45 77.6	43 74.1	16 27.6	8 13.8	4 6.9	4 6.9	1 1.7	1 1.7	1 1.7	-
6年生	58 100.0	50 86.2	42 72.4	16 27.6	9 15.5	3 5.2	2 3.4	-	1 1.7	-	-

5. 母親の就労

1) 母親の就労状況

- ・「フルタイム」は介護・育休等による休業中を含めて17.8%、「パート・アルバイト等」は休業中も含めて51.0%で、全体の68.8%が就労している。
- ・子どもの学年別（一番下の子の年齢とは限らない）では、1年生では50.8%が就労しているが、5年生では77.0%、6年生では83.6%が就労している。



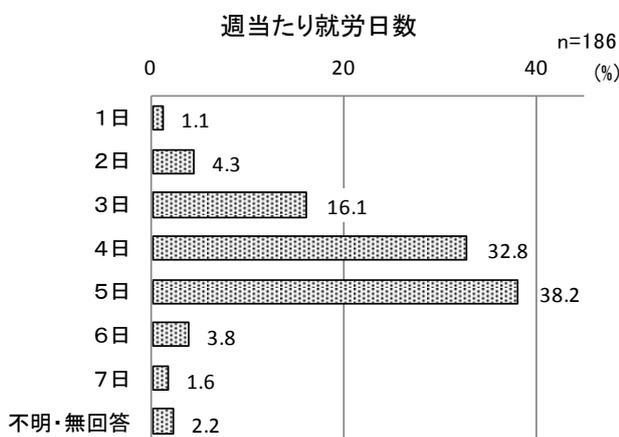
子どもの学年に見た母親の就労状況

上段:度数 下段:%	合計	フルタイム	フルタイム (休業中)	アルバイト等	パート・アルバイト等 (休業中)	現在は就労していない	これまで就労したことがない	不明・無回答
全体	365 100.0	64 17.5	1 0.3	185 50.7	1 0.3	77 21.1	30 8.2	7 1.9
1年生	63 100.0	9 14.3	-	22 34.9	1 1.6	20 31.7	11 17.5	-
2年生	56 100.0	5 8.9	-	31 55.4	-	15 26.8	5 8.9	-
3年生	65 100.0	13 20.0	-	34 52.3	-	9 13.8	6 9.2	3 4.6
4年生	58 100.0	11 19.0	-	27 46.6	-	15 25.9	3 5.2	2 3.4
5年生	61 100.0	11 18.0	1 1.6	35 57.4	-	12 19.7	2 3.3	-
6年生	61 100.0	15 24.6	-	36 59.0	-	6 9.8	3 4.9	1 1.6

2) パート・アルバイト等の場合の就労状況

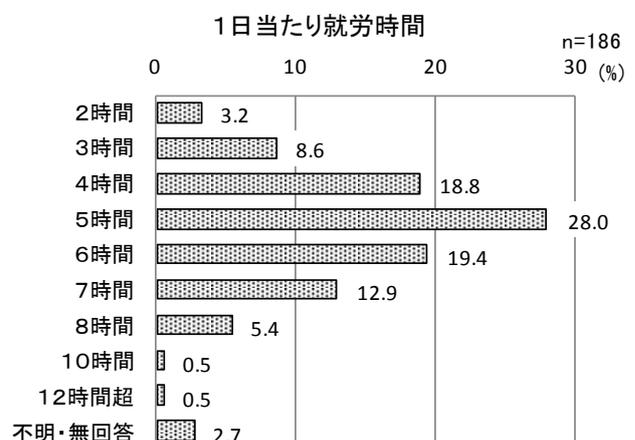
① 週当たり就労日数

- ・「5日」が38.2%、「4日」が32.8%を占める。



② 1日当たり就労時間

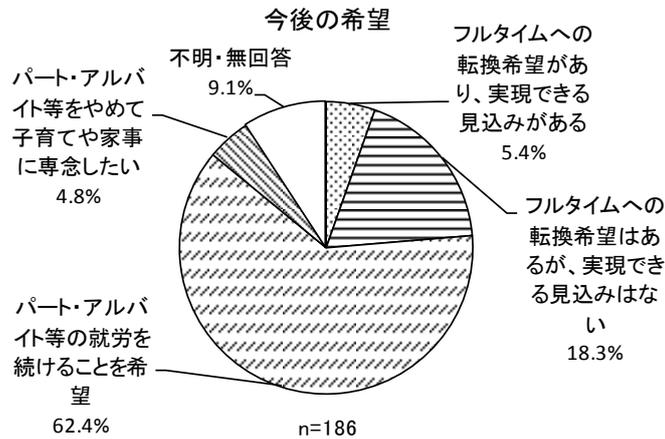
- ・「5時間」が28.0%で最も多く、「6時間」が19.4%、「4時間」が18.8%で続く。



※パート・アルバイト等の就労者には休業中を含む。

③今後の希望

- ・「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が62.4%を占める。
- ・パート・アルバイト等の就労者の23.7%にフルタイムへの転換希望があるが、このうち18.3%（転換希望者の約77%）は実現できる見込みがないと回答している。

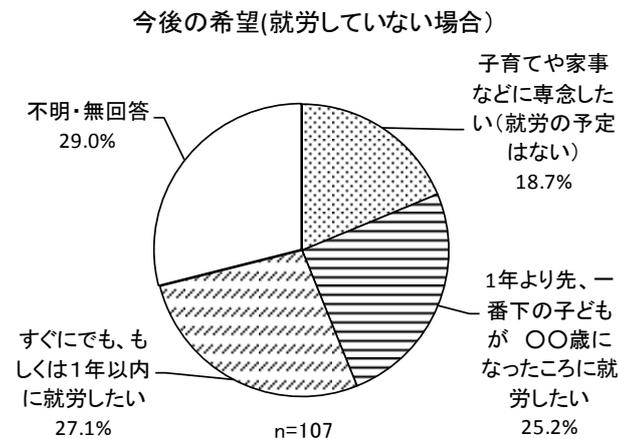


※パート・アルバイト等の就労者には休業中を含む。

3) 就労していない場合の就労希望

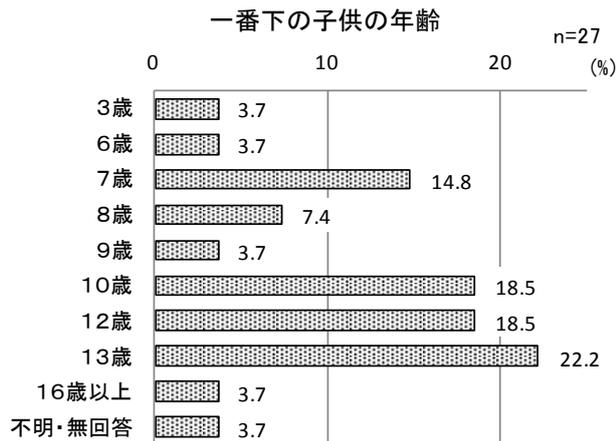
①今後の希望

- ・「これまで就労したことがない」あるいは「現在就労していない」母親のうち27.1%には1年以内の就労希望があり、1年以上先の就労を希望する場合を含めて52.3%には将来的な就労意向がある。



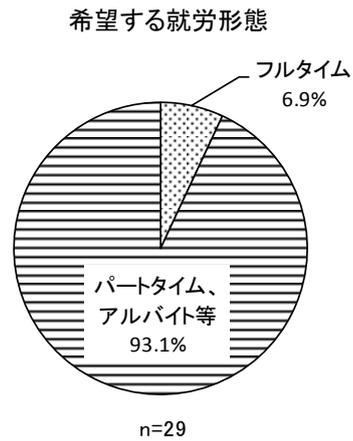
② 1年より先の就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢

- ・13歳が22.2%で最も多く、10歳と12歳が18.5%で続く。
- ・次に、小学校入学後となる7歳が14.8%となった。



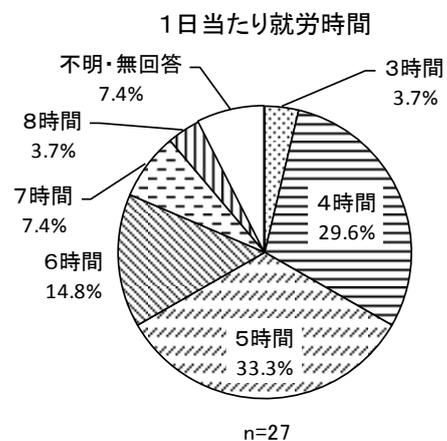
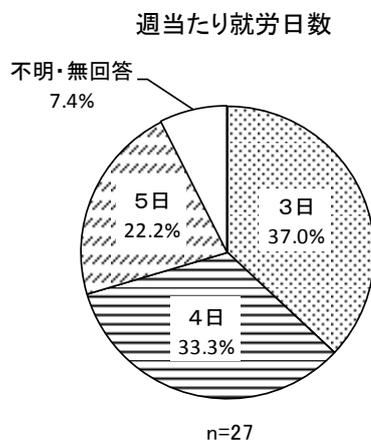
③ すぐにも、もしくは1年以内の就労を希望する場合の就労形態

- ・すぐにも、もしくは1年以内の就労を希望しているのは29人で、その93.1% (27人) がパート・アルバイト等を希望している。



④ すぐにも、もしくは1年以内にパートタイム・アルバイト等での就労を希望する場合の労働条件

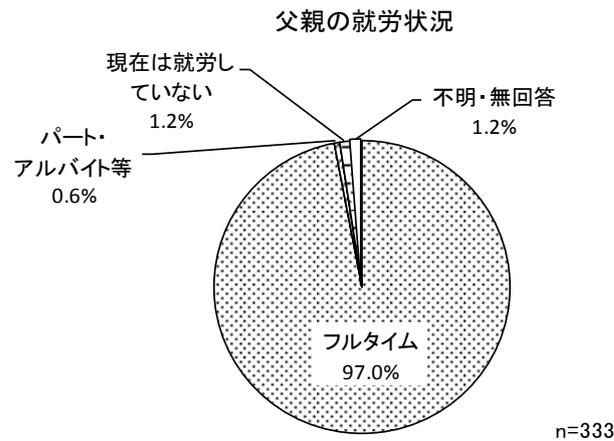
- ・週当たり就労日数は、「3日」が37.0% (10人)、「4日」が33.3% (9人)、「5日」が22.2% (6人)。
- ・1日当たり就労時間は「5時間」が33.3% (9人)で最も多く、「4時間」が29.6% (8人)、「6時間」が14.8% (4人)で続く。



6. 父親の就労

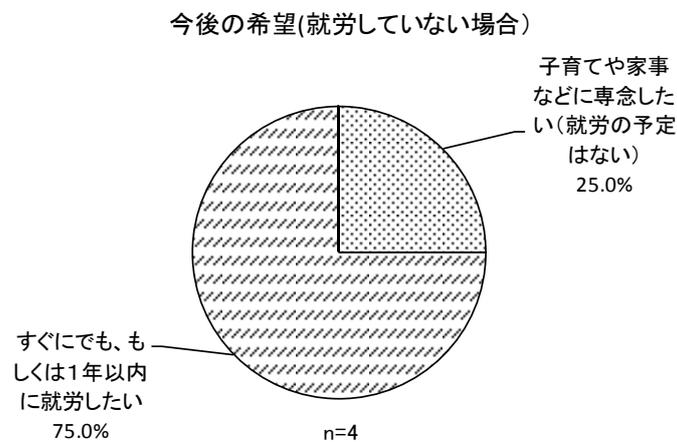
1) 父親の就労状況

- ・「フルタイム」での就労が 97.0% を占める。
- ・「パート・アルバイト等」は 0.6% (2人) となっているが、うち 1名は週当たり就労日数や 1日当たり就労時間ではフルタイム相当となっていた。いずれも「パート・アルバイト等」で就労を続けることを希望している。
- ・「現在は就労していない」は 1.2% (4人) であった。



2) 就労していない場合の就労希望

- ・現在就労していない 4人のうち、75.0% (3人) は「すぐにでも、もしくは1年以内の就労」を希望し、その全員がフルタイムでの就労を希望している。

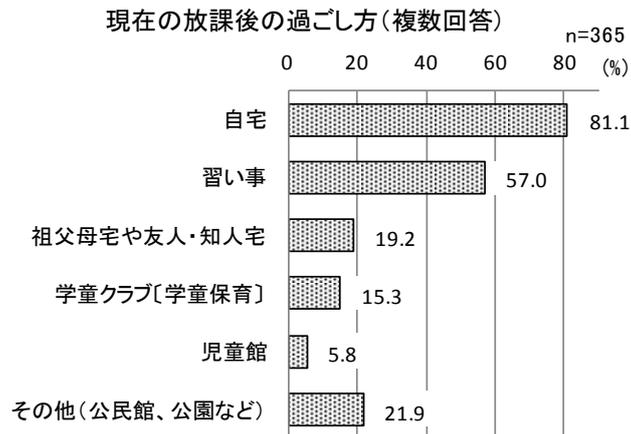


7. 放課後の過ごし方

1) 現在の放課後の過ごし方

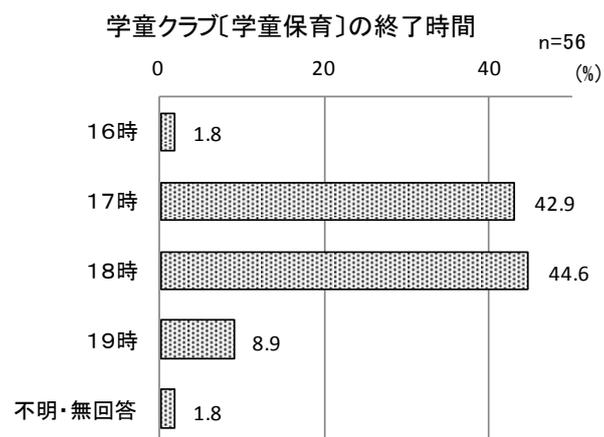
①現在の放課後の過ごし方

- ・「自宅」の81.1%以外では、「習い事」が57.0%で最も多い。



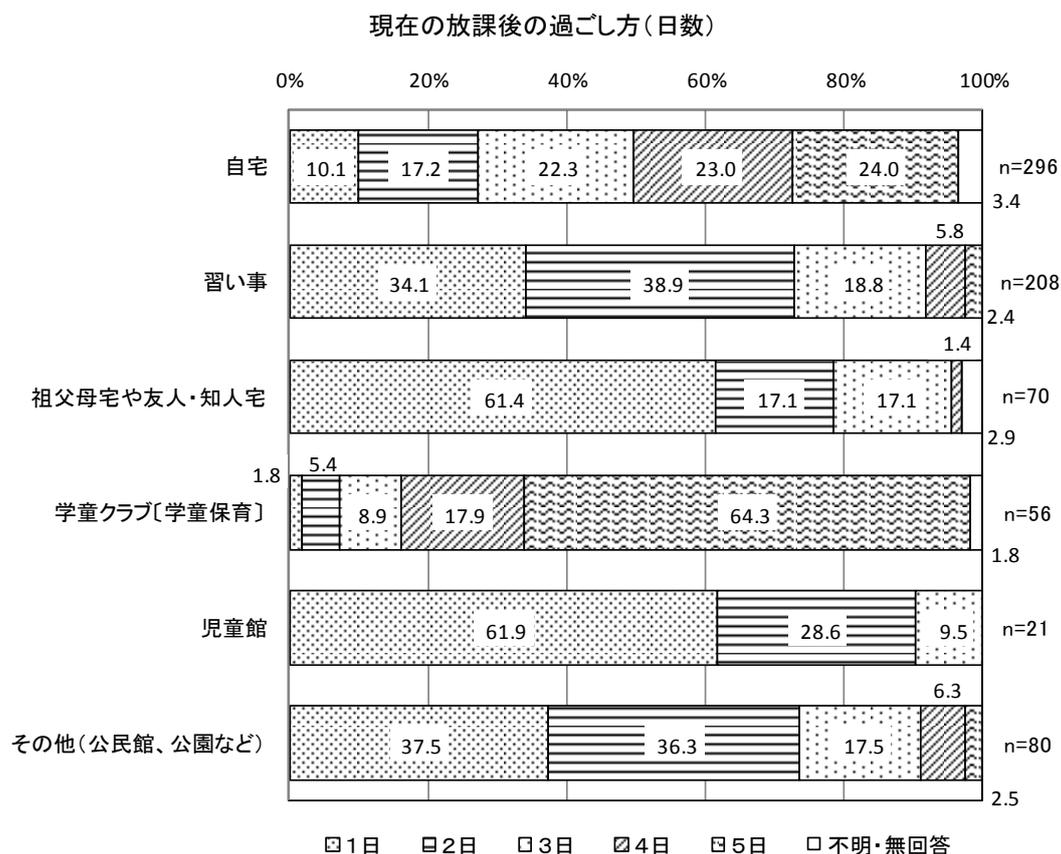
②学童クラブ〔学童保育〕の終了時間

- ・「学童クラブ〔学童保育〕」をあげたのは56人で、終了時間は「18時」が44.6%、「17時」が42.9%を占めている。
- ・「19時」が8.9%あった。



③放課後の過ごし方（日数）

- ・「習い事」をしている 208 人のうち 65.9%は週 2 日以上となっている。週当たり平均日数は 1.8 日であった。
- ・「学童クラブ〔学童保育〕」の利用者 56 人の 64.3%は平日は毎日利用している。週当たり平均日数は 4.2 日であった。



各項目選択者別の週当たり平均日数

項目	n	週当たり平均日数
自宅	296	3.2 日
習い事	208	1.8 日
祖父母宅や友人・知人宅	70	1.3 日
学童クラブ〔学童保育〕	56	4.2 日
児童館	21	1.2 日
その他（公民館、公園など）	80	1.7 日

※各項目の合計日数が 5 日を超える回答については、合計が 5 日になるよう平準化した。

④学年別に見た放課後の過ごし方

- ・「自宅」を選択した割合は低学年より高学年の方が高く、高学年では学年が上がるに従って選択者の割合も高くなっている。
- ・全学年で半数以上が「習い事」をしている。特に5年生では65.6%と高く、週あたり平均日数も他の学年に比較して多い。
- ・「学童クラブ〔学童保育〕」は低学年では各学年1/4程度が利用している。高学年では利用率が下がり、5年生以上では3.3%と利用は限られるが、利用者の週あたり平均日数では5年生以上の方が多い。
- ・「児童館」は2年生の利用率が16.1%と他の学年に比較して高かった。

学年別の放課後の過ごし方

(%)

	自宅	習い事	祖父母宅や友人・知人宅	学童クラブ〔学童保育〕	児童館	その他(公民館、公園など)
全体	81.1	57.0	19.2	15.3	5.8	21.9
1年生	74.6	55.6	14.3	25.4	4.8	15.9
2年生	71.4	50.0	26.8	25.0	16.1	23.2
3年生	73.8	60.0	21.5	24.6	6.2	26.2
4年生	82.8	55.2	12.1	10.3	6.9	29.3
5年生	91.8	65.6	19.7	3.3	1.6	19.7
6年生	93.4	54.1	21.3	3.3	0.0	18.0

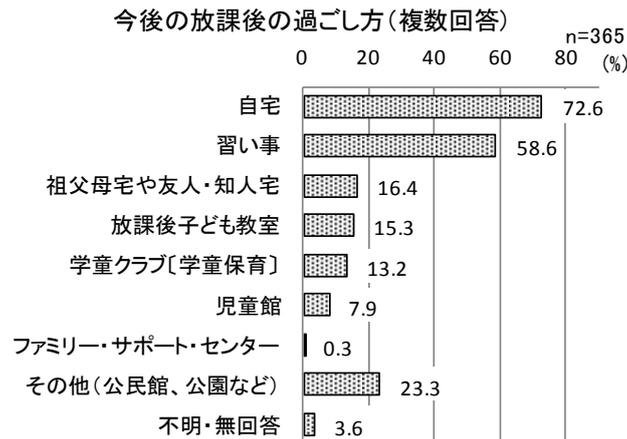
学年別の放課後の過ごし方(各項目選択者の週あたり平均日数)

	自宅	習い事	祖父母宅や友人・知人宅	学童クラブ〔学童保育〕	児童館	その他(公民館、公園など)
全体	3.2	1.8	1.3	4.2	1.2	1.7
1年生	3.4	1.5	1.3	4.2	0.9	2.0
2年生	2.9	1.8	1.4	4.3	1.3	1.6
3年生	3.1	1.6	1.3	4.1	0.9	1.4
4年生	3.0	1.9	1.3	3.9	1.4	2.1
5年生	3.0	2.2	1.5	4.5	0.8	1.6
6年生	3.4	1.9	1.3	5.0	-	1.8

2) 今後の放課後の過ごし方

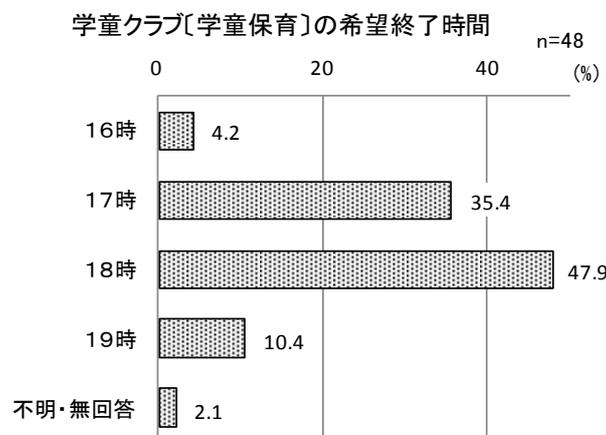
①今後の放課後の過ごし方

- ・「自宅」の72.6%を除けば、「習い事」が58.6%で最も多かった。
- ・現在のところ実施していない「放課後子ども教室」については、15.3%の利用希望があった。



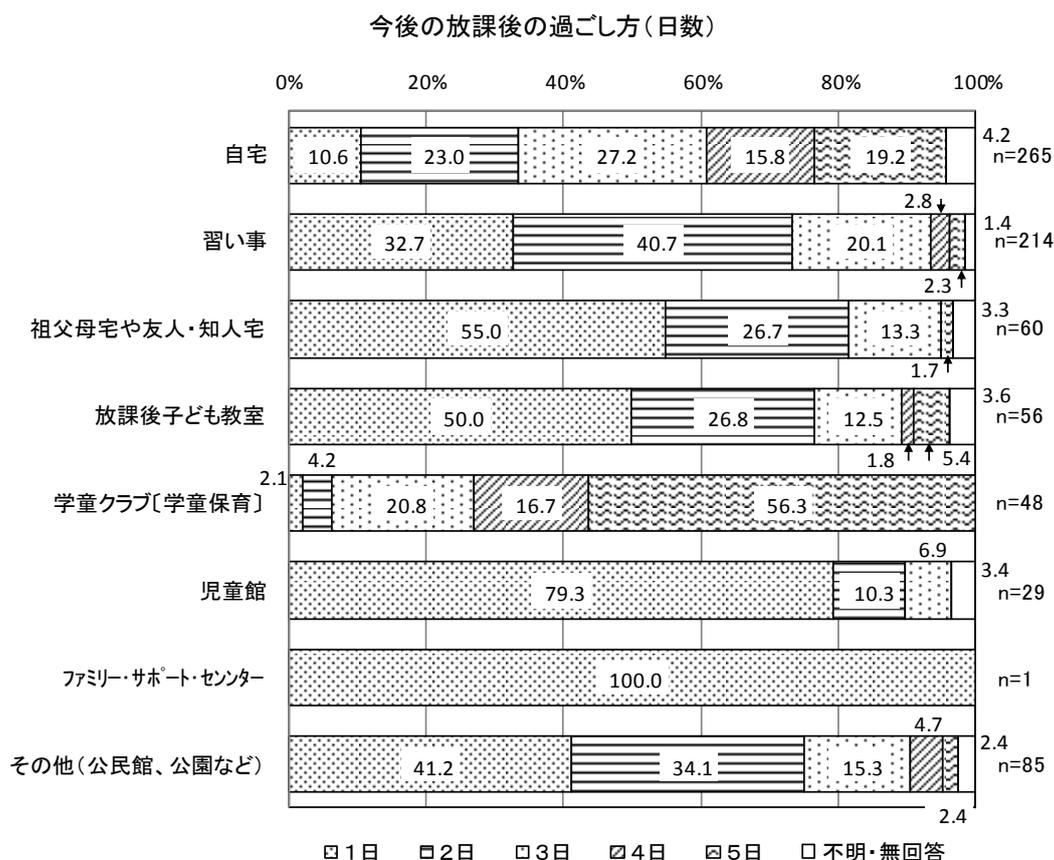
②学童クラブ〔学童保育〕の希望終了時間

- ・「学童クラブ〔学童保育〕」をあげたのは48人で、希望する終了時間は「18時」が47.9%を占めている。
- ・87.5%が「18時」までの終了を考えているが、10.4%（5人）は「19時」までを希望している。



③今後の放課後の過ごし方（日数）

- ・「習い事」を希望する 214 人のうち 65.9%は週 2 日以上を希望している。希望者の週当たり平均日数は 1.8 日であった。
- ・「学童クラブ〔学童保育〕」の利用希望者のうち、平日は毎日利用することを希望しているのは 56.3%で、希望者の週当たり平均日数は 4.1 日であった。
- ・「放課後子ども教室」の利用希望は 56 人で、その 46.5%が週 2 日以上の利用を希望している。希望者の週当たり平均日数は 1.6 日であった。



各項目選択者別の週当たり平均日数

項目	n	週当たり平均日数
自宅	265	2.9 日
習い事	214	1.8 日
祖父母・友人・知人	60	1.4 日
放課後子ども教室	56	1.6 日
学童クラブ〔学童保育〕	48	4.1 日
児童館	29	1.0 日
ファミリー・サポート・センター	1	0.9 日
その他	85	1.7 日

※各項目の合計日数が 5 日を超える回答については、合計が 5 日になるよう平準化した。

④学年別に見た今後の放課後の過ごし方

- ・「自宅」を選択した割合は低学年より高学年の方が高く、5年生までは学年が上がるに従って選択者の割合が高くなっている。
- ・全学年で半数以上が「習い事」を希望している。特に5年生では65.6%と高く、希望者の週あたり平均日数も他の学年に比較して多い。
- ・「学童クラブ〔学童保育〕」は低学年が主体で、学年が低い方が利用希望が多い。他方、希望者の週あたり平均日数では、学年が高くなる方が多くなっている。
- ・「児童館」は2年生の利用希望が19.6%と他の学年に比較して高かった。
- ・現在のところ実施されていない「放課後子ども教室」について、4年生の24.1%、2年生の19.6%が利用を希望している。

学年別の今後の放課後の過ごし方

(%)

	自宅	習い事	祖父母宅や友人・知人宅	放課後子ども教室	学童クラブ〔学童保育〕	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)
全体	72.6	58.6	16.4	15.3	13.2	7.9	0.3	23.3
1年生	63.5	61.9	15.9	12.7	28.6	7.9	-	20.6
2年生	64.3	51.8	17.9	19.6	23.2	19.6	-	26.8
3年生	64.6	61.5	15.4	13.8	15.4	10.8	-	23.1
4年生	72.4	62.1	10.3	24.1	8.6	8.6	1.7	29.3
5年生	88.5	65.6	23.0	9.8	-	1.6	-	19.7
6年生	83.6	47.5	16.4	13.1	3.3	-	-	21.3

学年別の今後の放課後の過ごし方 (各項目選択者の週あたり平均日数)

	自宅	習い事	祖父母宅や友人・知人宅	放課後子ども教室	学童クラブ〔学童保育〕	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)
全体	2.9	1.8	1.4	1.6	4.1	1.0	0.9	1.7
1年生	2.9	1.5	1.8	1.1	3.6	1.1	-	1.8
2年生	2.6	1.8	1.0	1.6	4.0	1.1	-	1.8
3年生	3.0	1.8	1.2	1.7	4.3	0.8	-	1.7
4年生	2.7	1.8	2.0	1.9	4.8	1.2	0.9	1.6
5年生	2.8	2.2	1.5	1.2	-	0.8	-	1.5
6年生	3.4	1.9	1.2	1.9	5.0	-	-	1.5

8. 自由意見のまとめ

自由意見の内容を分類・集計し、主な意見として以下の6項目にまとめた。

自由意見の概要

- 1) 学校に関する要望 (36 件)
- 2) 学童保育に関する要望 (29 件)
- 3) 安全の確保に関する要望 (26 件)
- 4) 公園に関する要望 (25 件)
- 5) 公共施設に関する要望 (24 件)
- 6) 子どもを預けることに関する要望 (16 件)

1) 学校に関する要望 (36 件)

【主な内容】

①教育・指導に関する要望 (20 件)

- ・松伏町は県内でも学力が低い方らしいので、対策を講じて欲しい
- ・土曜日に授業を振り替えてはどうか (帰りが遅い、習い事があるなどのため)
- ・中学校の評判が悪くて心配、荒れている子供が少くない
- ・公園で中学生に睨まれる、マナーが悪い

等

②学区・通学に関する要望 (7 件)

- ・小学校・中学校の学区を見直して欲しい

等

2) 学童保育に関する要望 (29 件)

【主な内容】

①長期休暇の際の対応に関する要望 (10 件)

- ・夏休みなどの長期休暇の時だけでも利用できるようにして欲しい

等

②その他利用形態に関する要望 (7 件)

- ・勤務時間や勤務日数に関わらず預かって欲しい
- ・短期の利用や急用の際などの一時預かりをして欲しい
- ・学校が臨時休校の際にも預かって欲しい
- ・利用申請を出してから入所までの期間を短くして欲しい

等

③利用環境に関する要望 (6 件)

- ・先生の質を上げて欲しい
- ・保護者の集まりが多くて困る

等

④利用時間に関する要望（4件）

- ・利用時間の延長と、土日の開所を検討して欲しい 等

3) 安全の確保に関する要望（26件）

【主な内容】

①歩道・通学路に対する要望（14件）

- ・歩道がない、歩道が狭い、ガードレールがないところを改善して欲しい
- ・車通りの激しいところ、スピードを出すところの安全対策をして欲しい 等

②防犯に関する要望（12件）

- ・街灯を増やして欲しい
- ・不審者が多いので対策を講じて欲しい 等

4) 公園に関する要望（25件）

【主な内容】

①公園の設置に関する要望（18件）

- ・近くに安全に遊べる公園があったらいいと思う
- ・サッカーなどのボール遊びが出来る公園がない 等

②公園の管理や遊具等の設置に関する要望（6件）

- ・鉄棒、うんてい、ブランコを設置するなど、公園を整備して欲しい 等

5) 公共施設に関する要望（24件）

【主な内容】

- ・子どもだけで安心して利用できる施設を増やして欲しい
- ・児童館ちびっこらんどは未就学児向けで、小学生には使いにくい
- ・小学生が遊んだり勉強したりできる施設が欲しい 等

6) 子どもを預けることに関する要望（16件）

【主な内容】

①病中・病後や緊急時の対応に関する要望（7件）

- ・病中・病後、体調不良などで子どもを預かってもらえる場所がない
- ・緊急時や帰宅時間が遅くなった際に預けられる施設があると助かる 等

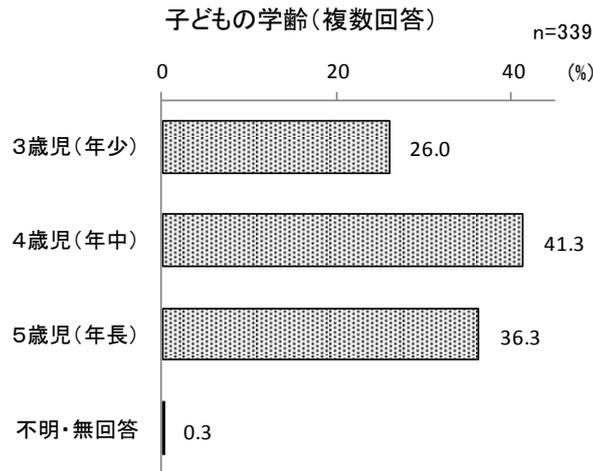
②長期休暇の際や一時預かりに関する要望（5件）

- ・子どもの帰宅前に終わる仕事に就きたいが、長期休暇中に預ける場所がない
- ・気軽に預けられる場所が欲しい 等

Ⅲ. 幼稚園園児保護者用アンケート集計結果

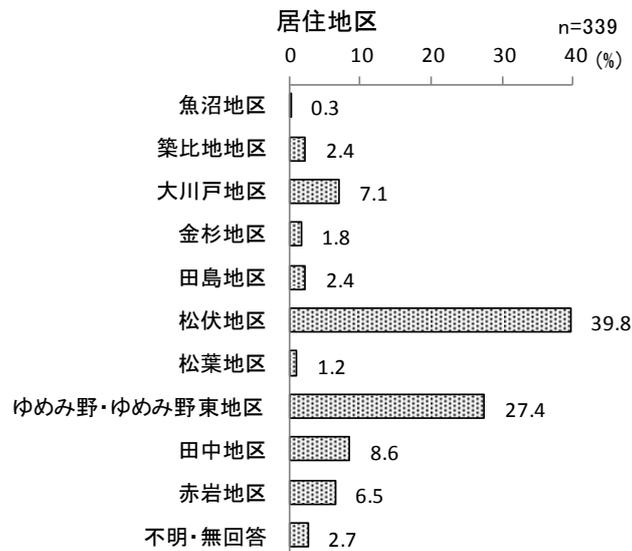
1. 子どもの学齢

「4歳児（年中）」が41.3%、「5歳児（年長）」が36.3%、「3歳児（年少）」は26.0%であった。



2. 居住地区

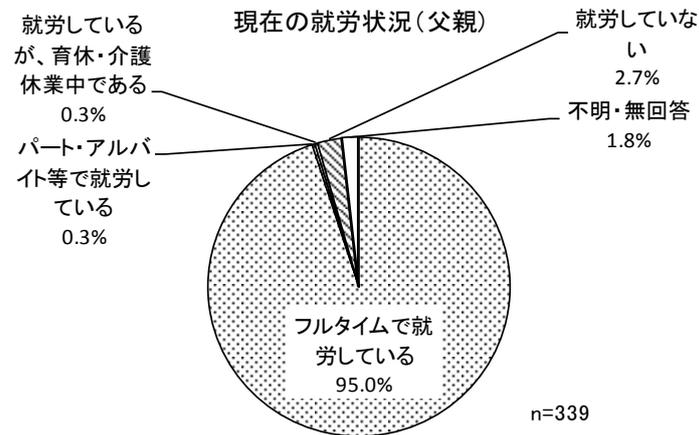
「松伏地区」が39.8%で最も多く、続いて「ゆめみ野・ゆめみ野東地区」が27.4%が多い。



3. 父親の就労状況

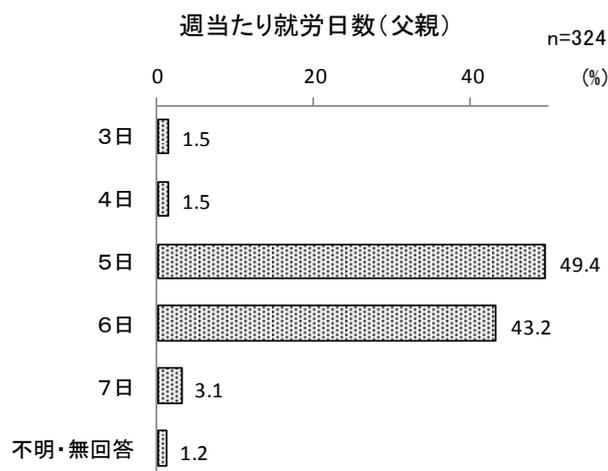
1) 現在の就労状況

「フルタイムで就労している」が全体の95.0%を占めた。「パート・アルバイトで就労している」は0.3%、「就労しているが、育休・介護休業中である」も0.3%であった。



2) 週当たり就労日数

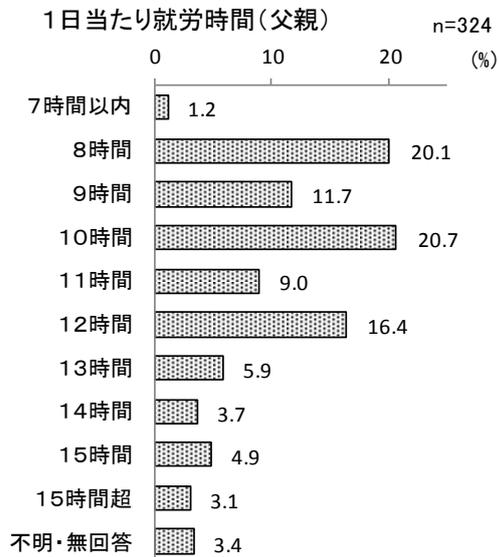
現在就労しているのは324名で、週当たり労働日数は「5日」が49.4%、「6日」（隔週を含む）が43.2%であった。



3) 1日当たり労働時間

「8時間」が20.1%、「9時間」が11.7%、「10時間」が20.7%で、52.5%が8～10時間の労働となっている。

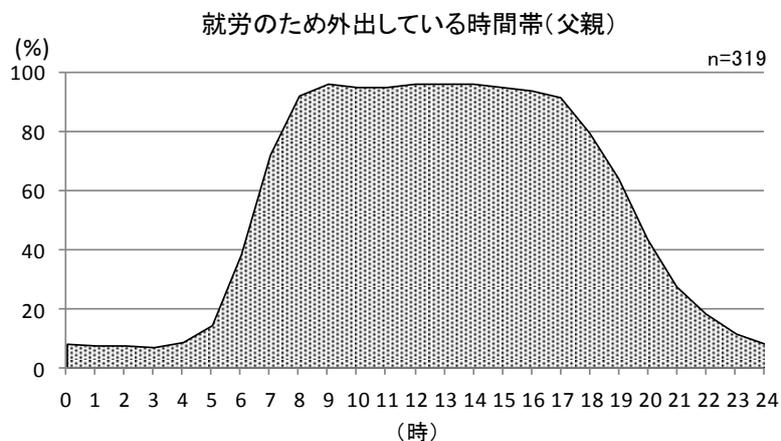
他方、「12時間」が16.4%あり、全体の34.0%が12時間以上となっている。



4) 就労のため外出している時間帯

外出・帰宅時間の回答があった319人について外出中の時間帯を集計したところ、午前7時には78.1%が就労のため外出しており、午前8時以降午後5時までは9割以上が自宅にいない。

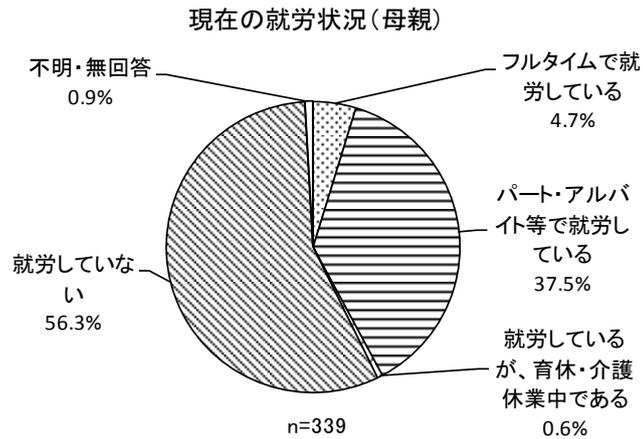
午後6時以降は帰宅者が増えるが、午後8時でも43.6%が帰宅していない。



4. 母親の就労状況

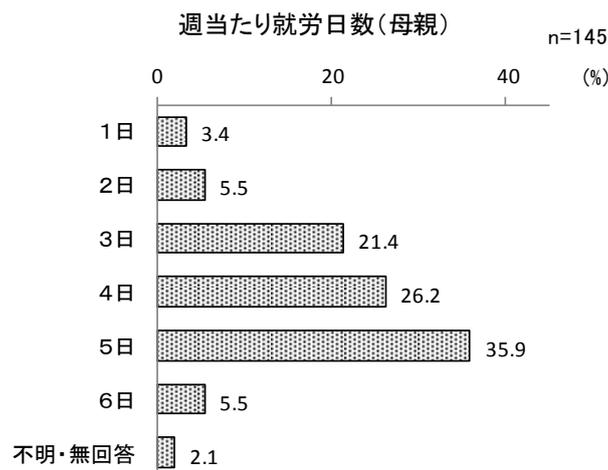
1) 現在の就労状況

「フルタイムで就労している」が 4.7%、「パート・アルバイト等で就労している」が 37.5%、「就労しているが、育休・介護休業中である」は 0.6%で、「就労していない」が 56.3%あった。



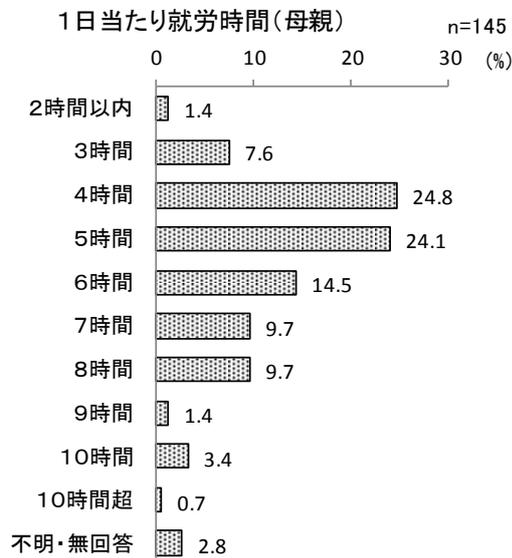
2) 週当たり就労日数

現在就労しているのは 145 人で、週当たり就労日数は「5日」が 35.9%で最も多く、「4日」が 26.2%、「3日」が 21.4%で続いている。



3) 1日当たり労働時間

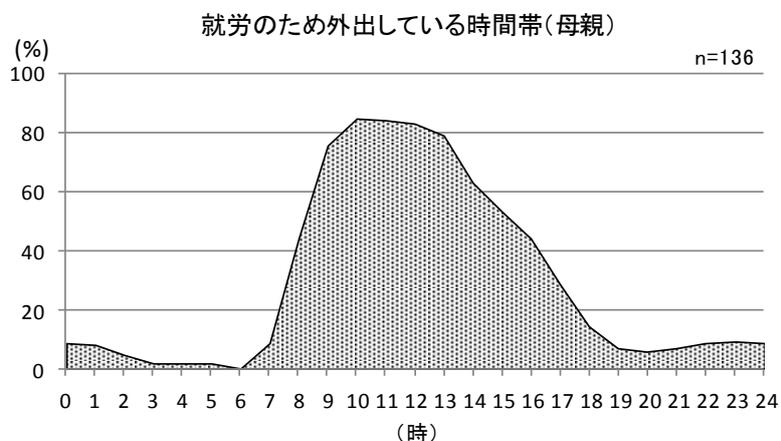
「4時間」が24.8%、「5時間」が24.1%で、4～5時間が48.9%を占める。また、72.4%が6時間以内となっている。



4) 就労のため外出している時間帯

外出・帰宅時間の回答があった136人について外出中の時間帯を集計したところ、午前9時には75.0%が就労のため外出しており、午前10時以降正午までは8割以上が自宅にいない。

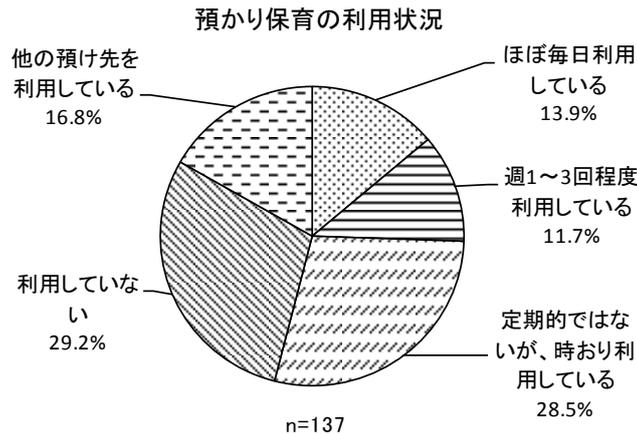
午後1時以降は帰宅者が増えるが、午後5時で27.9%、午後6時で14.0%が帰宅していない。



5. 預かり保育の利用状況

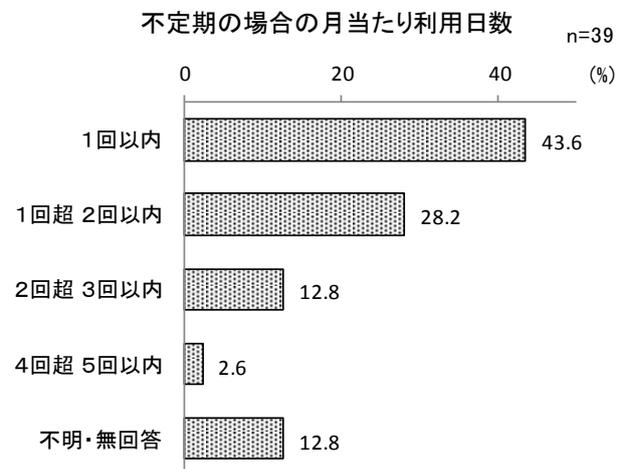
1) 預かり保育の利用状況

父親・母親ともに就労している 137 人について預かり保育の利用状況を聞いたところ、「ほぼ毎日利用している」が 13.9%、「週 1～3 回程度利用している」が 11.7%、「定期的ではないが、時おり利用している」が 28.5%で、合わせて 54.1%が預かり保育を利用している。



2) 不定期の場合の月当たり利用日数

「定期的ではないが、時おり利用している」と回答した 39 人について、月当たりの利用日数を聞いたところ、「1 回以内」が 43.6% 「1 回超 2 回以内」が 28.2% を占めた。



3) 他の預け先

「他の預け先を利用している」と回答した 23 人に預け先を聞いたところ、82.6% (19 人) が「親族、友人、知人等による預かり」をあげた。

また、「職場の保育室・託児所」や「職場で一緒に過ごす」が 21.7% (5 件) あった。